

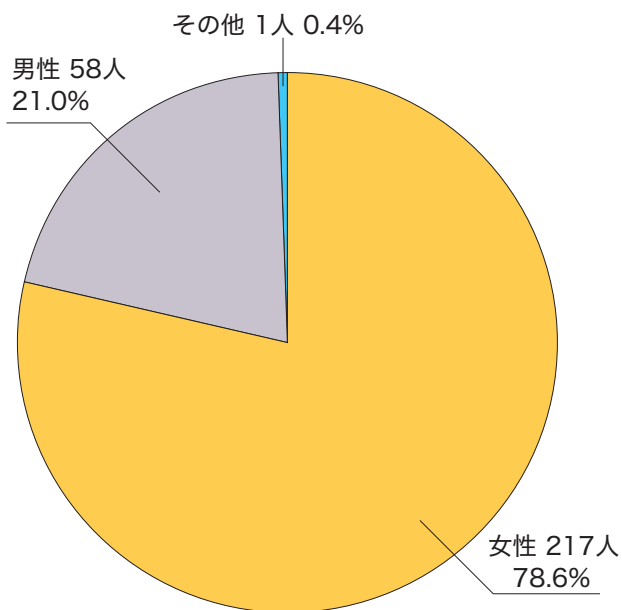
●参加者アンケート

■基調講演・記念講演・記念シンポジウム・おもてなしコンテンツなど

[回答数：276件]

回答者属性

【性別】

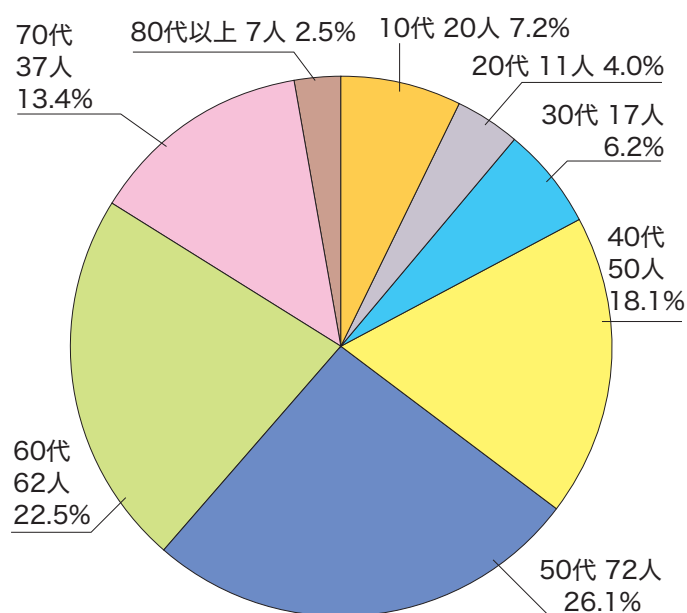


【お住まい】

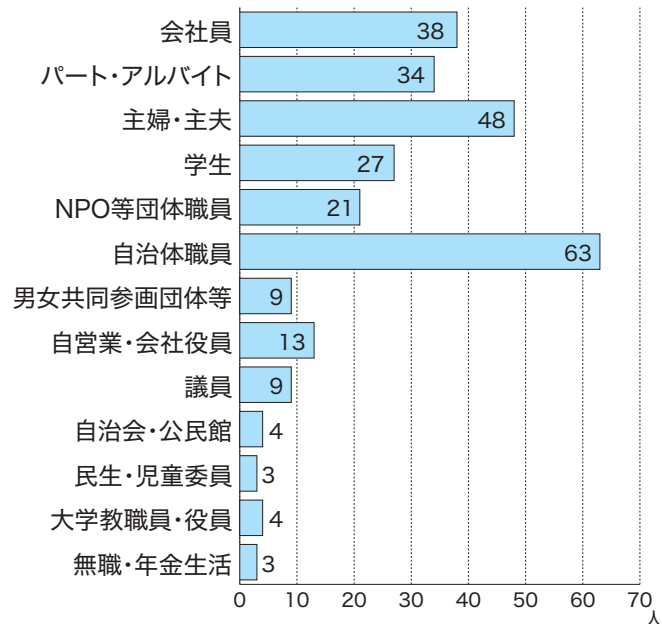
(人)

北海道	1	滋賀県	4
青森県	3	大阪府	7
岩手県	1	兵庫県	1
山形県	2	奈良県	8
茨城県	5	和歌山県	2
栃木県	17	鳥取県	7
埼玉県	5	岡山県	2
東京都	6	山口県	3
富山県	1	徳島県	4
福井県	5	香川県	7
山梨県	15	高知県	1
長野県	2	福岡県	7
岐阜県	2	佐賀県	1
静岡県	3	熊本県	2
愛知県	141	大分県	1
三重県	8	沖縄県	2

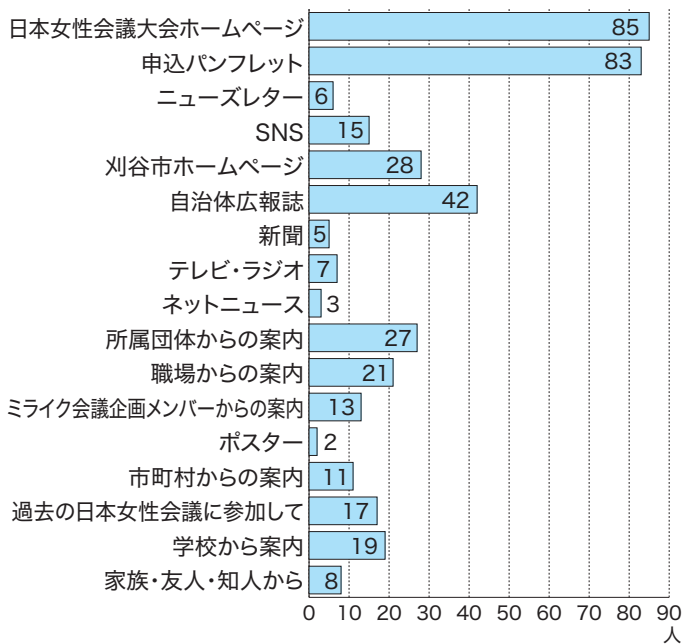
【年代】



【職業・所属】



Q. 本大会をどのように知りましたか。(複数回答可)

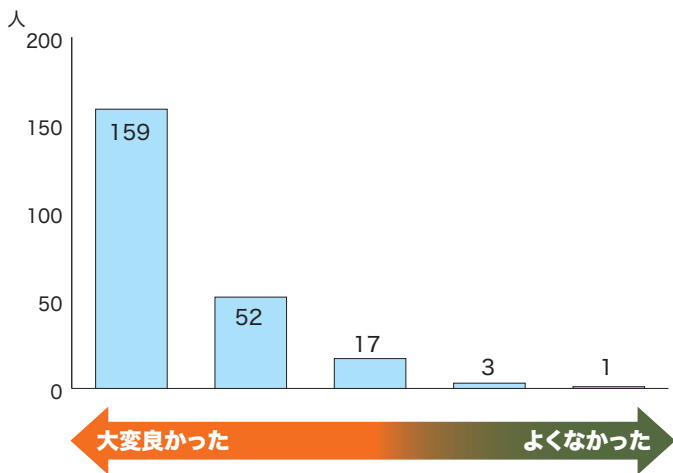


ご意見感想など (一部抜粋)

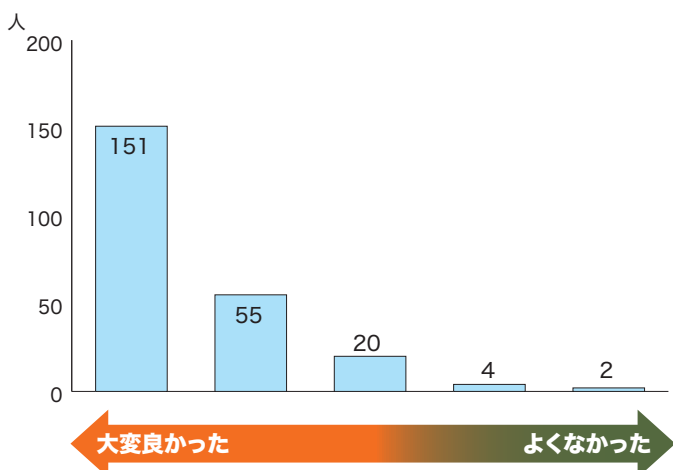
- ◆常にぶれない姿勢を貫く上野さんのお話、心地よく拝聴させていただきました。
- ◆PV視聴後、感想をシェアできたことで、大変有意義な時間になりました。
- ◆しっかりとした、内容でした。ジェンダーの違う分野が見えてきました。
- ◆日本の現状について理論的に分析していただき勉強になりました。
- ◆上野先生の「弱者が弱者のまま尊重される社会」になっていくことを願う。私自身、女性の役割(家事、育児)に加えて男性のようにならないといけな(職場では男性と同等に活躍を求められる)と思っており、到底難しいと感じていた。男性は上野先生の話聞いてどう感じたのかとても興味がある。現状日本の社会を動かしている男性陣が変わらないので、日本はなかなか変わらないという実感がある。また女性も意識を変えたいと思う人がまだまだ少ないことが原因だと思える。親が変わろう、変えたいと思っていないと難しいと思うが未来のためには教育の力が大切で、そのためには教育現場の意識改革が必須だとも思った。一方でなかなか変わらない世の中でも、少しずつ変化はしているので、小さな前進かもしれないが女性会議の役割は世の中を動かすきっかけとなっているし、今後も行くと思う。
- ◆平等社会への歩みが遅々として進んでいない状況に改めて愕然とする思いです。
- ◆印象に残った言葉「リーダーに性別を問わない程度に成熟した民主主義の社会」「生き延びる知恵」「能力やスキルを身につける。能力やスキルのある人を調達する。」「身近な人を変えられなければ社会は変えられない。」
- ◆安心して弱者になれる社会の実現に向けて歩み続ける事の必要性がよくわかりました。日々の生活の中で小さな疑問をキャッチしつつ行動できるようにして行きたいと感じました。
- ◆最新の話題でジェンダーを学ぶことができたこと
- ◆つかえ棒が1本ではなく何本もあればOKということと、大学生の質問に対して「あなたが後からくる人のロールモデルとなって」と講師が答えていたことが印象に残っています。
- ◆若者からの質問は良かったが、男性も質問者に入っているともっと良かったと思う。
- ◆「オンラインを使える人と、使えない人との差が格差を生んでいる。」との言葉に、これは大変と勉強しなくてはの気持ち。
- ◆独身でなければもう少し共感できたのに！
- ◆オンラインでなかったらもっと良かったと思いました。
- ◆データを踏まえ話を聞いてよかった。成功事例などもっと話を聴きたかった。上野先生の講演が聴けてとても嬉しかった。このような講演をこれからも開催して欲しい。
- ◆家のPCの調子が悪かったのか音声が入り切れ抜けのときがありました。
- ◆大変充実した内容を講義いただいたのですが、展開がはやくついていけない場面が多々あったので、画面に映し出される主な資料などを事前にメールなどで送っていただいたりできれば、手元で資料を見ることができ、さらに理解を深めることができたのではないかと思います。
- ◆上野さんの最後のメッセージ。女性を増やして、安心して弱者になれる社会、安心して認知症になれる社会、安心して障害者になっても殺されない社会、が泣けました。本大会の趣旨とは違うかも

基調講演「コロナ禍とジェンダー」について

Q. 講師(上野千鶴子氏)はいかがでしたか。(n=232)



Q. 内容はいかがでしたか。(n=232)



しれないですが、質問で登壇された学生代表3名の中に男子学生が1人でもあったのが良かったのかなと感じました。25年くらいNPOで男女協働参画に携わっていて、なにも変わっていないと日々思うことがある一方で、このような基調講演にオンラインで参加できて、上野さんに女子学生が質問することは大きな進歩と感じました。

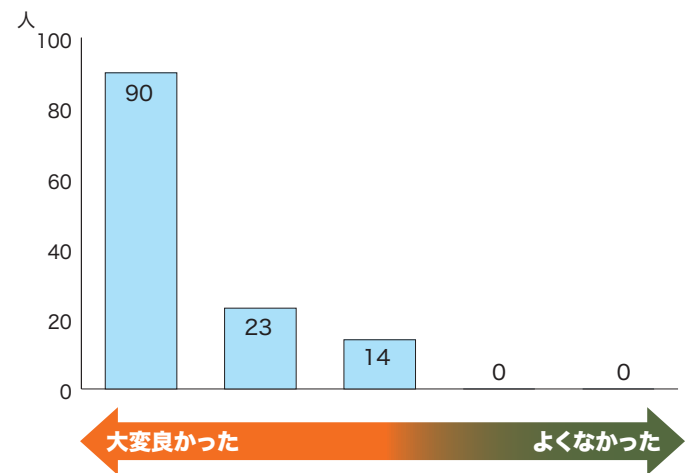
- ◆どんな立場の人でも、自分らしい生き方ができる世界になったらいいなと思った。そのためには、私たち一人ひとりが正しい知識を身につけて、行動していくことが大切だと感じた。
- ◆コロナ禍による影響、現状、課題等が分かりやすく、大変有意義だった。
- ◆「本当のフェミニズムとは、弱者が弱者のまま尊重されること」という言葉に感銘を受けました。
- ◆ZOOM参加者が学生だけだったのが残念。子育て世代の女性や非正規の女性などいろいろな女性を入れてもよかったのでは。
- ◆オンラインでよく聞こえてわかりやすかった。
- ◆コロナ禍で可視化された社会のひずみや問題を的確に指摘され、今後目指すべき社会のあり方の指針を提示していただいた。たいへん有意義なご講演でした。
- ◆コロナ禍における貧困問題やDVの課題は非常に深刻であり、その不利を受けているのが女性になっている現状は、社会課題の本質を浮き彫りにしているものと思われる。当面は直面する課題への対応となると思われるが、改めて社会構造の変革は必要だと感じている。でなければ、弱いものが認められる社会はなかなか訪れない。微力ながら、自分なりにできることをやっといこうと思う。
- ◆安心して「認知症に、要介護に、障害者に」なれる社会に少しでも近づけられるよう、交渉力を身に付け、自分の身近な世界から変えていけるようにしたいと感じました。
- ◆学生との交流などから、ウェブ開催の長所を活用できてよいイベントだと思った。
- ◆学生相手のお話のようで、働いている者には、物足りない内容でした。最初から分かっていたらよかったのですが・・・対象を絞らないのはわかりますが、それならば、もう少し具体的に講演内容を書いてくださればよかったのではないのでしょうか？
- ◆業務中で急なことが入り、オープニングや分科会など予定していたとおり視聴することができなかった部分もあり残念だったが、オンラインでも臨場感や一体感があり、大変良かった。基調講演では、お話の内容や若い世代の子からの質問からも、世代は違っても感じる事など女性として共感できることがたくさんあるんだと実感することができた。これからも頑張っていきたいと思える貴重な時間であった。
- ◆講演時間があっという間に過ぎました。女性参画というと、男性も同じようにしていかないといけないのでは、という考えが覆りました。自分で自分の生き方を選べるといこと、弱くてもそのままでもいいということなどとても気持ちのいいお話でした
- ◆上野千鶴子さんの言葉に力があり共感しました。誰もが幸せを感じ、安心出来る社会にしていく責任が今の大人たちにはあると、特に地位も権力もお金もある人たちには。そうです、強者であった男性が障害者になり、これまでの弱者への偏見が強かった人ほど目が苦しくむ姿を介護の現場で多く見て来ましたから。
- ◆対面でないためか、上野先生の日ごろの迫力が薄かったように思う。
- ◆男女共同参画はゴールでなくツールだと言い切った。そうして目指す社会は、「たすけて」と言える社会にすること、安心して年

を取る事ができる社会にすることと言われたことが、大変うれしく、心強く思いました。

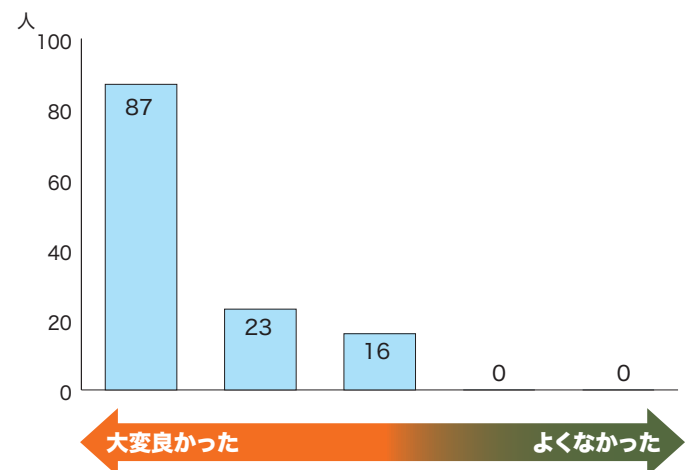
- ◆男性にも聞いてもらいたい内容だった。
- ◆男性や政治に対する非難的な発言が多く、これまでの歴史を語るの分かるが、これからどうしたらいいか、前向きな内容が欲しかった。
- ◆東大の新入生に向けた祝辞に感銘を受け是非講演を聞いてみたいと思っていたので、大満足です。コロナ禍から問題が浮上したのではなく平常時から問題や課題が一層際立ったと話されたこと、格差社会は人為的に作られたこと等々今の日本の現状を知る事が出来、様々考えるきっかけとなり、貴重な時間でした。

記念講演「女性が社会を動かすとき—日本骨髄バンクのケースから」について

Q. 講師（大谷貴子氏）はいかがでしたか。(n=127)



Q. 内容はいかがでしたか。(n=126)



Q. ご意見ご感想など（一部抜粋）

- ◆心に響くお話でした。本当の意味での心の強さを感じました。
- ◆記念講演・基調講演もう少し長くてもよかった。演者の熱気があるのすごく伝わった。話の内容もよかった。手話通訳があって話の内容をきちんと把握することができてよかった。毎日の生活をこなすことが第一で怒ったり疑問に思うことがない。もう少しゆっ

たり向き合うことが必要かな？

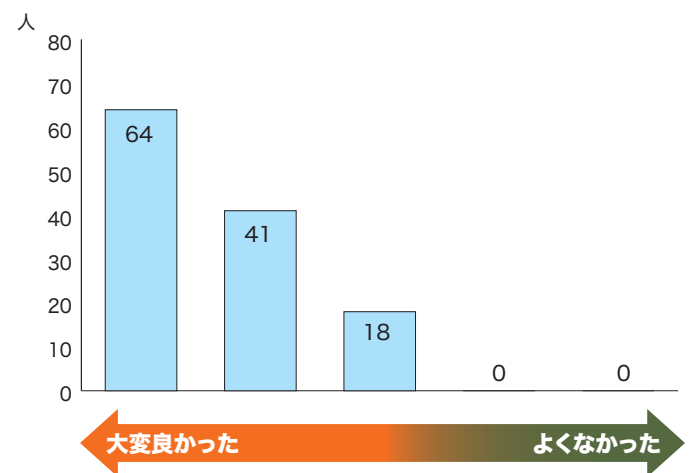
- ◆ZOOMの限界を超えて、直接お話しくださったように感動しました。
- ◆人を引き込み 巻き込む力を お話からも受け取れ、構えず ひらばの位置の大切さを学びました。
- ◆11月12日の新聞を早速読みました。活動を通じて得たものは「人は財産である」この言葉にいいね！です。「気づいたことを発信する」「言い続ける」もいいですね。ありがとうございました。
- ◆ご自身の闘病を乗り越え、その体験を生きる力として周りを巻き込む人間性に感動しました。闘病を通して沢山のひとと知り合えたこと、そしてそのご縁を大切に日々活動されておられる大谷様に心からの拍手を送りたいと思います。
- ◆自分の経験から課題を見つけて解決に向けて注力されていることが素晴らしいと思いました。次なる課題とされている病院のWi-Fi環境については、最近入院した娘がポケットWi-Fiを使用していたことから、解決すべき問題だと思えます。
- ◆発信力の強さに脱帽です。「気づいたことは発信する。」を肝に銘じます。
- ◆印象に残った言葉「皆さんに平等に生きるチャンスが与えられるということ」。原動力は、の質問に対し「怒り」と堂々と話される姿に感銘しました。嫌味がなく等身大の気持ちが伝わってきました。
- ◆これまで女性は言いたいことがあっても、言わず我慢することが美德のように育てられてきたように思います。大谷さんは気づきを発信、変革を促すことができ、とても凄いなと尊敬しましたし、自分も気づきを我慢せず発信することが大切だと感じました。
- ◆言うだけの点が、変化することにより良い社会を創ることの第一歩なんですね。その点がなければ次の社会がない。言うだけしか出来ない自分と思って黙っていたのでは進まないことに気付きました。
- ◆次々と課題に気付き、それぞれに全力で取り組んで解決していく生き様に、微力ながら活動に取り組む者として勇気をいただきました。
- ◆自分自身の問題解決を他の人へも広げ、次々と支援に繋げていった素晴らしい行動力に感心した。適当なところで引込んでしまう自分自身を反省した。
- ◆抗がん剤を使うと不妊になるという現実を大谷氏のご講演をうかがうまで、知りませんでした。社会を変えるには、よく身近な家庭から変えなければといわれますが、やはり内容・事柄によっては、政治から変えていかなければならないこともありますよね。もっと男性以外を政界に送らなければと考えさせられました。とても明るく前向きな大谷氏のご講演に感銘を受けました。
- ◆司会の方も仰っていましたが、言葉の力強さがオンラインでも伝わってきました。困難なことでも、発信し続け、それが繋がり、やがて形となっていった実例を聞くことができ、とても感動しました。講演を聴く機会に恵まれたことに感謝したいと思います。
- ◆点を見える化し、線に繋げる仲間を引き寄せ、面にしていく、そんなパワーを感じました。Wi-fiを院内に。これは地元でも発信していきたいと思いました。
- ◆実体験に基づいたメッセージが響きました。大谷さんの原動力「怒り」。私たち世代の活動の原点はそこにあったことを、思い出することができました。声を出し続けること、止めてはいけなと思いました。
- ◆私自身の「思い立ったら即行動」はいつも周囲から批判されてきましたが、間違いではなかったと、大谷様から大きなパワーを頂

きました。帰宅してすぐに、難病で苦しんでいる友人に、さっそく大谷様のお話を聞いて、回復したらあなたこそ、また誰かの力になれるよと声をかけ、その友人にもパワーをあげることができました。ありがとうございました。

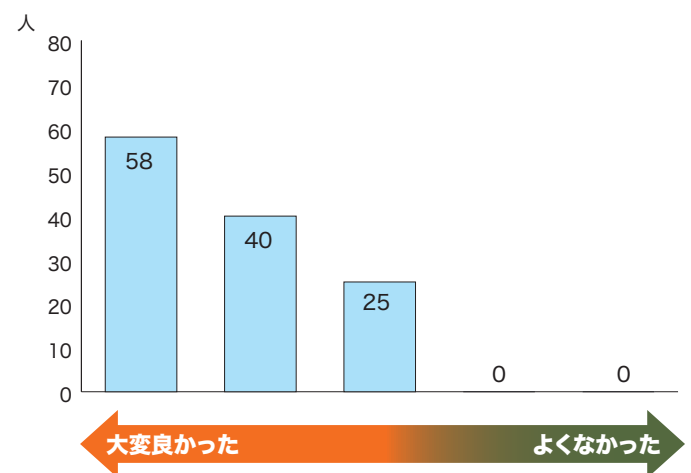
- ◆行動力、伝える力の強さを感じました。まず自分の事からでも始め、それが周りの人への事になり大きな変化をもたらすことが分かりました。
- ◆現地に出てしまうと大会参加ができるが地元にいると他の行事に追われてしまう。
- ◆「原動力は怒り」「怒っているだけでは間に合わない」に心が動きました。
- ◆不妊症の話が多すぎた

記念シンポジウム「スポーツから変える世界と未来」について

Q. 講師（宮嶋泰子氏）はいかがでしたか。(n=123)



Q. 内容はいかがでしたか。(n=123)



ご意見ご感想など（一部抜粋）

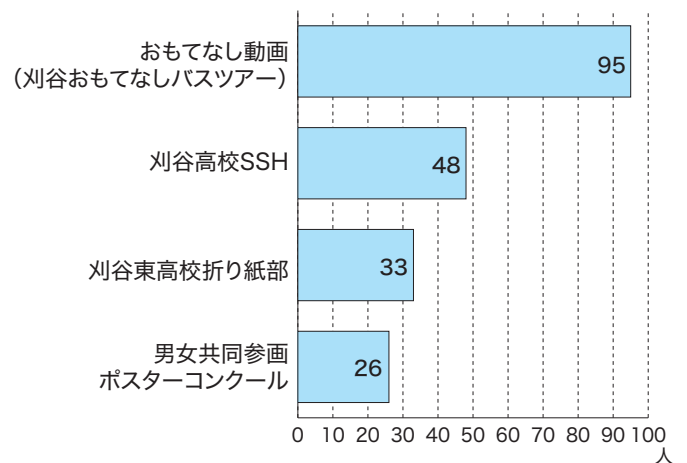
- ◆オリンピックの歴史とともに、周りの偏見などにも耐え、様々な場面で生き抜く女性アスリートの強さを感じました。また少しずつでも、アスリートを取り巻く環境が良い方向に変化していると知れてよかったです。ありがとうございました。

- ◆シンポジストの方々は、それぞれの立場や経験からお話くださり、我々が色々考える機会と材料を与えてくださいました。ただ、おひとりずつのお話時間が長く思われ、限られた時間の中ではありませんが、もう少し多くのテーマについてそれぞれの方のお話が聞ければよかったと思いました。
- ◆スポーツオンチなのでそんなに興味がなかったのですが、宮嶋さんや女性アスリートの苦勞、セクハラがよくわかり、それを乗り越え参加しているのに感動しました。応援したジェンダー平等になるよう声を出していきましょう。
- ◆スポーツがこれほどまでに歴史や社会現象と関わりがあることに驚いた。スポーツやスポーツをする人は、新たな時代を切り開いていくのだなとおもった。東京五輪を通して、どんな人でもスポーツを楽しみ、互いを理解し合う世界、時代になったらいいなと思う。
- ◆スポーツに関しての知見のみならず、配慮の届く構成に時間を忘れました。
- ◆スポーツを続けている私にとって、楽しい時間でした。トップクラスの選手ばかりでなく、好きだから続けていたから80歳を過ぎてても元気であることに感謝です。時代の流れに沿ってのお話には一つ一つなづきました。大坂なおみさんの話題には実感です。日本のスポーツ界における問題点はまだまだ・・・ですね。
- ◆スポーツを通して互いを尊重する社会について考える、大賛成です。シンポジウムを通して金子みすずの詩「みんなちがって みんないい」の心が伝わってまいりました。
- ◆スポーツ界で選手が自由にものを言えること、パワハラ・セクハラ等がなくなること等改革すべき課題は多いと思います。そのためがんばっている方を知ることが出来てよかったです。スポーツ界には一般社会から見てありえない事象もあり、ひとりひとりが尊重され、みんながスポーツを楽しめる社会を実現したいと思います。「体育会系」的な考えがスポーツの発展を阻害していますね。
- ◆マラソンにしても、ラグビーにしても女性の活躍は切り開いていった人の努力があってこそ現状だということ。我々の世代は常に応援していきたい。
- ◆印象に残った言葉「スポーツは人生を切り拓く武器」伝えたいことが山ほどある、といった前向きな気持ちに共感が持てました。昔の「珍しい、無理」といったイメージが今の当たり前に進化していると実感できます。50年後には全てのスポーツが男女の区別無しで実施されているかもしれませんね。オールノーサイド！シンポジウムは少なくともあと1時間は見ていたかったです。内容に興味を惹かれ、今後のスポーツへの取り組み方が変わります。
- ◆元アナウンサーの方なのでとても聞きやすく拝聴させていただきました。スポーツから変える世界と未来・・・学生の頃はスポーツを頑張っていました。スポーツによりけりや慢性的な疾患等により社会人になってからはほとんど運動をすることがありませんでした。なので、スポーツ観戦も特に興味を持ってなかったと思います。しかし、今日の講演を聞いて、スポーツをしなくてもできることはあると思いました。本当に、いろいろな人が、女性の立場、障がい者の立場を理解してもらい、生きやすい世の中に変えていく努力をしてきたことで変わってきていることに感謝の気持ちでいっぱいになりました。これから自分ができること、何ができるのか、できることは実行していこうと思いました。ありがとうございました。
- ◆講演にカタカナ用語が多く、わからないから調べようという意欲が出た。

- ◆講演の中で、ダイバーシティ&インクルージョンの話が出ていたことが興味深かったです。
- ◆今年開催される予定であったオリンピックを踏まえてのシンポジウムということであったが、開催されなかったからこそ、一步引いて様々なことを知り、考えるきっかけになったと思う。様々な立場の方のお話が聞けて良かった。
- ◆司会の方がうまく全体を回していたと思います。スポーツに焦点をあてることでどうかな、と最初は思いましたが、どんな分野にも共通の課題があることがわかり勉強になりました。
- ◆私もサッカーは男性のスポーツ！という時代に育ったので、ラグビーをはじめいろいろなスポーツを、性別を問わず子供たちが体験し、活躍する土壌があることは素晴らしいしうらやましいと思います。
- ◆失った数を数えるより、今あるものを数えよ。(グッドマン)パラリンピックの話がよかった。
- ◆展開がスムーズでわかりやすかった。
- ◆普段考えてこなかったテーマだった。
- ◆スポーツから変えるという方向には同感できたが、しかし大変難しいと思う。しっかりした計画をみんなが共有して同じ方向を向くむずかしさを強く感じた。
- ◆「大坂なおみさんが、日本のスポーツ環境の中で能力を発揮できたか?!」には日本のスポーツ界の抱える問題として、うなずいてしまいました。

おもてなしコンテンツについて

Q. おもてなしコンテンツの中で、よかったものをお選びください(複数回答可)。(n=110)



Q. 大会全体について、ご感想・お気づきの点がありましたらご記入ください。(一部抜粋)

- ◆とても充実した時間を過ごせました。準備等お疲れさまでした。ありがとうございました。
- ◆オンライン開催をされるにあたり、携われた皆様はご苦勞も多かったかと思います。勉強をさせていただきました。
- ◆良く考えられたプログラムでした。初めての挑戦でここまで出来れば素晴らしい！
- ◆分科会は一カ所で間隔を取り仕切り・マウスシールドなどを使用して一緒に部屋で出席者全員で見ながら話しもらうことで視聴する側が一体感になれる気がしました。
- ◆すべてみることができなかったので残念です。おもてなしコンテ

ンツの配信予定が事前に知らされているとよかったかな？日本を代表する講師の話の聞ける。こんな機会はめったにありませんから。

- ◆準備・運営にあたられた皆様、ほんとうにお疲れさまでした。現地に行かなくても参加させていただけたことに感謝です。少し厚かましいことを言わせていただければ、各講演のレジュメ等を事前にいただくことができれば、もっとゆったりとお話が聞けたと思います。メモを取るのが少々大変でしたので。でも、静かな環境で講師の方をひとりじめできた満足感は、オンラインならではのあつたと思います。また、オンライン開催は、大きな会場を持たなかったり、多くの人員の配置が難しい自治体でも開催できる可能性を感じさせてくれました。ほんとうに貴重な機会をありがとうございました。
- ◆全国大会のオンライン開催なのでうまく行くのか参加者も心配していましたが、素晴らしい運営で大成功でした。いろいろと配慮され、ディスカッションにも参加でき意見が言えたことはうれいす。家で居て参加できたとは私にとっては良かったです。
- ◆初めてオンライン会議に参加した。思いの外、聞きやすく、充実した時間を過ごさせてもらった。たくさんたくさんのご苦労があったことと思う。企画や準備に携わられた方々に、お礼申し上げます。
- ◆長い間の綿密な準備ありがとうございました。オンライン会議となり一層大変だったと思います。素晴らしい大会でした。
- ◆コロナの中で出来ることを考え、「ミライク会議」を成功された皆様に感謝します。どんな状況でも、力を合わせれば出来ることを教えていただきました。
- ◆オンライン実施という新しい方向性を果敢に実践されたことに心から感服いたします。本当にお疲れ様でした。
- ◆現地に行けず残念でしたが、オンライン開催でもかなりのことが出来るというのが終わってみての感想です。講演などに集中でき、質問も出せたので満足しています。リアルの場合は気後れして質問も出せなかったかとも思います。
- ◆コロナ禍で全国の活動家と交流できる交流会がなかったのが残念でしたが、仲間と情報を共有でき、今後の取組みに活かせると思いました。コロナにめげず、オンライン会議を開催した決断にエールを贈ります。歴史に残る大会でした！！
- ◆オンライン開催で時間のない、全国の女性が、参加できる機会がある新しい女性会議であったと思う。PRにより、全国で参加する方が増えるといいと思った。音声の乱れが少しあったので、今後改善されると良いと思った。
- ◆これまで遠距離のため参加できなかった場所でも参加できるという点では新たな可能性を切り開いていく事で楽しみでもあります。ただ、開催地の経済効果を考えると、これから手を挙げる都市が続くかと心配でもあります。コロナが終息したら刈谷市を訪れたいと思います。
- ◆初めてのZOOMの視聴もできるようになり、世界が広がりました。ただ、ネット環境のない人や苦手な人を、どのようにフォローしたらいいかを早くから相談し、3密を避けながら工夫を凝らして、まとまったの視聴も実現でき、満足しています。
- ◆オンライン開催のメリット／デメリットを体感した。その他の意見としては、理解を深めるためにはレジュメ等の資料が手元にあると効果的である。
- ◆ここまでの大会に仕上げるまでのご努力に敬意を表します。講演、シンポジウム、分科会、どれをとってもすばらしかった。人選や構成などオンライン開催ならではの苦労があったと推察します

が、運営に関わった皆様の熱意が高知にいても伝わってきました。もしかすると実際に出席する以上の感動なのかもしれません(^^)二日間参加をすると、終了後はオンラインなのに、なんだか実際に参加して帰ってきたようなリアリティを感じたことも新鮮な驚きでした。おもてなしのチカラですね。

- ◆オンラインへの変更にあたり大変なご尽力があったものと感じ取れる内容でした。オンラインならではの参加人数。よかったと思います。個人的には参加型の分科会が1番楽しく感じました。やはり何かを生み出すには対面でディスカッションが1番いいと感じるのは私がそう言う世代だからなのかも。今時の方々はかえってオンラインで話す方がいいと感じるのかもしれないね。分科会の内容の感想ですが、このコロナ禍での変化が、子どもの発達成長にどのような影響があるのか、なんて悩みも10年後にはオンライン、ソーシャルディスタンス、マスクが当たり前になっていて問題視されていないかも。もしくはコロナ前に戻っていて、コミュニケーションがネット上でしかとれない人が増加し、社会がリアルとバーチャルに分かれてしまうのか。。それはそれで新しいダイバーシティが築けているのかも、と想像しています。
- ◆オンライン開催をしていただいたため、コロナ禍の今日でも大会に参加出来、勉強させていただけたので良かった。仮にコロナが無くても、地方からの参加は日程上難しいこともあるので、オンライン開催はありがたかった。来年以降も現地での開催に加え、オンライン参加も選択肢に入れていただけると参加しやすいと思う。
- ◆とても素晴らしい学びの場で、また、心尽くしのおもてなしで感激しました。関係者の皆様、どうもありがとうございました。一点、折角のWEB開催でしたので、大会宣言は読み上げるだけでなく、画面にも表示していただけるとわかりやすかったかと思えます。出来れば、今後公式サイトに掲載していただけると有り難いです。
- ◆リモート開催であったからこそほぼ全てに参加でき、学ぶことができた。次年度からも選択肢として残して欲しいと思う
- ◆大会コンセプトに「生活と仕事の調和」「多様性の尊重」「世代をつなぐ」を掲げられ、子ども、高校生、大学生、高齢者などさまざまな年代の方が、参画されていて素晴らしいかったです。特に「仕事と生活の調和」ではなく「生活と仕事の調和」とライフが先にきており、時代の流れをきちんとキャッチされているコンセプトだと思いました。今大会は、次世代につながっていくきっかけとなる会議になったのではと思います。
- ◆初めて女性会議に参加しましたが、とても有意義な内容でした。私自身、知らない・考えたこともないことばかりで、もっと知りたくなったので、女性会議の申込者だけでなく、多くの方に見ていただきたいと思いました。無償でもよいのでは…。あとは、「女性会議」という名前だと、興味を持つ人が限られてしまうのでは？と思いました。
- ◆オンラインで家にいながら参加できるのは楽かなと思っていましたが、家にいると、日常をこなしながらの参加になるので、思ったより時間のやりくりが難しく、予期せぬ邪魔も入るので、とても疲れました。開催地に行って、日常を忘れて大会に参加できるのは楽しいことであつたと実感いたしました。
- ◆企画がよく練られており、充実していたと思います。ダイバーシティに関する話題が多く、特徴が良く出ていた印象です。また若い方が沢山登場していたことも本会議の今後を考えるうえで、とてもよかったのではないかと思います。オンライン会議のせいか参加者が思いのほか増えず、高齢化がその一因かもしれないな、

と個人的には思い、本会議の今後に向けての検討課題と捉えさせていただきました。本当にお疲れ様でした。

- ◆残念ながら、高校生の発表Vは見逃してしまいました。ごめんなさい。大会全般にわたって、初めてのオンライン開催ということもありますが、スタッフみなさん方のご苦勞が伝わってきて、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。2000円で大丈夫なんですか？と心配になってしまいます。まだ、今後映像配信や大会誌の作成などやるのがいっぱいありますが、どうぞ最後までお体をいたわりながら進めてくださいね。防災の分科会Dでは、佐野市のゲストさんが加わったことで、佐野市開催が中止になった無念さがやわらいだような気がします。お心遣いに感謝です。本当は、刈谷市をお訪ねしたかったけれど、今回はおもてなしバスツアーで楽しみました、本当にありがとうございました。
- ◆映像という形に出演者が慣れていない為でしょうか、顔の照明、声の届け方、原稿への目線などいくつか気になることがありました。大会開催につきましては充分楽しませていただきました。ありがとうございました。
- ◆遠い地にいながら女性会議に参加することができ、貴重な学びの機会を得ました。
- ◆大きな会場では味わえない臨場感があり、コロナ禍の中初めてのオンライン視聴ができました。充実した2日間でした。若いパネラーの発言は、これからの未来を支えながら、少しずつ意識を変えていってくれそうな勢いを感じました。複数で参加できたこと、昨年の中止を踏まえた上でのオンラインでの実施もありがたかったと思います。
- ◆内容が豊富で多岐に亘る分野から構成されていて驚きました。ミライク会議とのネーミングの通り未来志向で希望に溢れた大会でした。
- ◆男女共同参画ネットワークの方のみでは高齢でありオンライン研修は難しそうといった声もあり、自治体にて全面的にサポートし、申込、場所の確保、オンライン研修の設備を準備し、研修室にてスクリーンへ投影し視聴する形式となりました。自治体でも長時間のオンライン研修を受講する環境は準備しておらず、FreeWi-Fiは1日に使用できる時間制限もあり、また受講中は映像が止まる不具合も発生してしまいました。自治体としても今後のオンライン研修の課題も発見する機会となりました。
- ◆初めてのオンライン開催は大変なことだったと思います。知人の中でも関心が高かったのですが、申込サイトが複雑でわかりにくいとか、事前の質問情報が多すぎて、意欲を削ぐといったご意見もいただきました。
- ◆参加型の分科会で、ほとんどの人がビデオにせず顔が見られなかったのが残念でした。全員顔が見える設定で進めていただいた方がよいと思いました。
- ◆オンライン開催素晴らしかったです。随所にみられるムービーなど、とてもよかったです。
- ◆いろんな年齢層に向けてはわかりませんが、幅を広げすぎて、薄い感じになっていると思われそうです。オンラインの割には値段設定も高いのでは・・・
- ◆分科会のアンケートのリンクが表示される時間が短く、不便だった。大会のHPなどからいつでもアクセスできるようにしていただくとありがたいです。
- ◆私は刈谷市の一市民ですが市民に対する広報が足りないと思った。市民センターで申し込みの仕方のパンフレットを偶然手に入れることができたから、参加できたが、自ら動かなかつたら知らないままで終わってしまったかもしれないのは残念だと思う。オ

ンラインで行うということも、初め知らずにいた。私はそれができる環境があったけど、オンラインが不可能という人も多いと思う。最後のエキシビションは途中でzoomに変更がうまくできないまま終わったのは残念！！

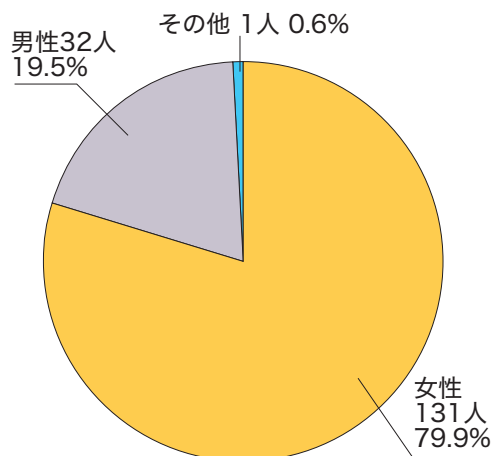
- ◆女性会議という名前ですが、男性にも女性の考えや思いを知ってほしいので男性も参加しやすくしたらいいと思う。
- ◆他の方のコメントが見れるというんな人の考えを知ることが出来るので良かったです。
- ◆オンラインで、質問をして回答を得られ参加した実感があった。
- ◆オンラインで2000円の会費は高いと思う。
- ◆オンライン会議をこれほど長く参加したのは初めてです。自身のスマートフォンで、視聴しましたが、見やすい画面構成でした。分割画面では、音声が遅れる、他画面との明暗の差など、多少気になることもありましたが、スケジュールどおりに進行了。司会の方と講師の方とのやり取りも良かったと思います。エンディング、バトンパス、事務局の皆さんの映像が流れましたが、その表情が素晴らしかった。アーカイブも楽しみにしています。
- ◆大きな企業が有る刈谷市、ちょっぴりうらやましく思う。大企業も大学もない我市が、少子高齢化の中どう生きぬくか、心配でもありたのしみでもある。65歳をすぎた私に何ができるか、考えさせられた2日間でした。
- ◆オンライン開催だったことで、参加することができました。とても勉強になる素敵な大会でした。ありがとうございました！エンディングで、老若男女、多様な人が画面に映っておられて良かったと思います。行政職員として、オンライン開催のノウハウを覚えてもらいたいと思って見させてもらっていました。
- ◆現場に参加した時の記憶と今回のオンラインを比べると、前者に比べ、今回は温度差が多かったと感じました。
- ◆オンラインによる会議と決まってからのスタッフの皆さん方の努力に対し、敬意しかありません。今後に繋がる大会になったと思います。

分科会A（高齢社会） 人生100年時代～高齢者のつながりづくり～

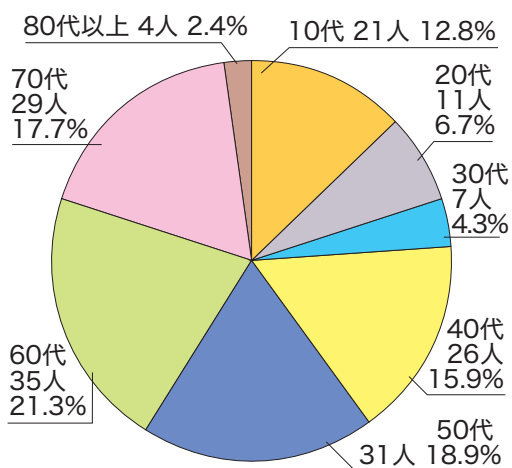
[回答数：164件]

回答者属性

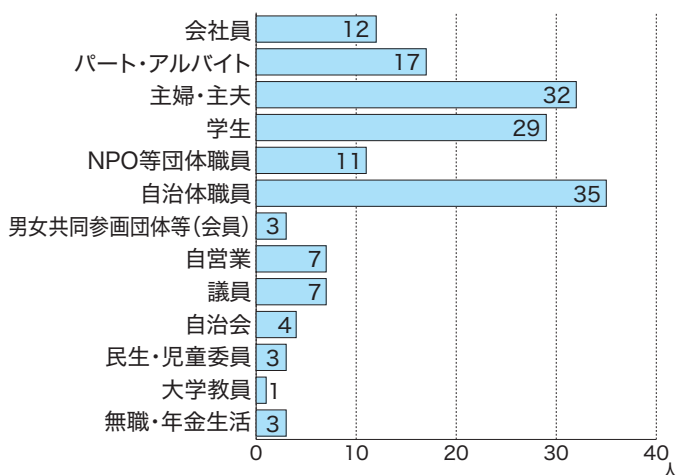
【性別】



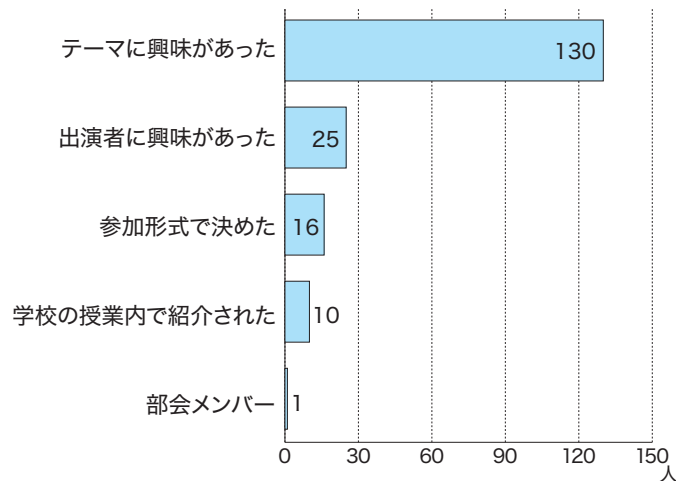
【年代】



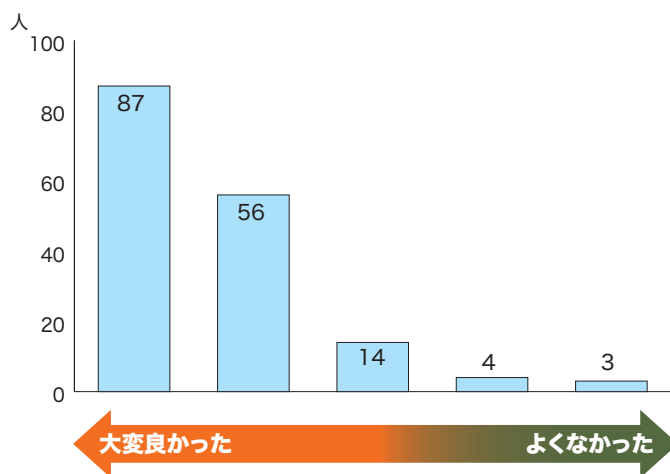
【職業・所属】



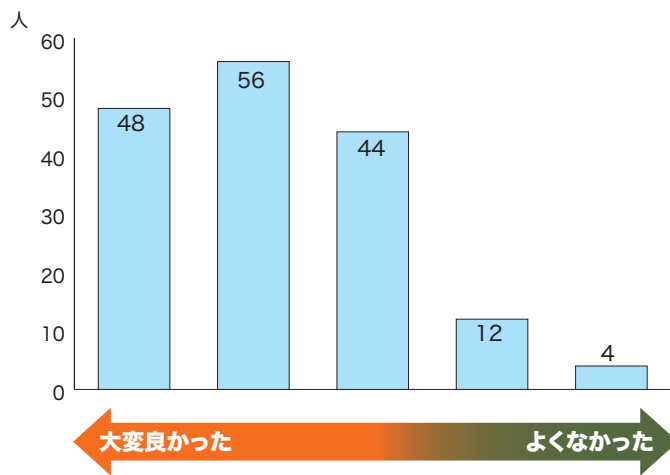
Q. この分科会を選んだ理由についてお答えください。（複数回答可）



Q. 山崎さんの講演はいかがでしたか。



Q. 山崎さんと吉田さんの対談はいかがでしたか。



Q. 分科会全体についてのご感想、お気づきの点がありましたらご記入ください。

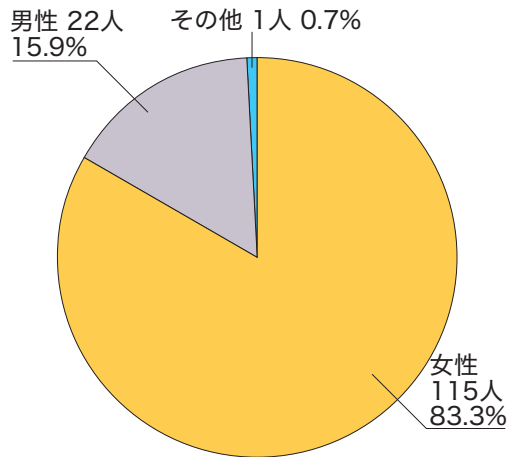
- ◆継続することが良い今後につながるよとばかり考えていましたが、継続につながるよなそれまでの過程を乗り越えた人たちがその人たちだけで乗り越えた経験を所有するのではなくそれを新たな種火にすることで更に拡大した活性化につながるのだという意見は初めて伺ったのでとても良い考え方だと思った。
- ◆「楽しさ」をメインとした活動事例（秋田）のケースがよかったです。
- ◆婦人会に所属しているが高齢化して活動が進まないことがあります。今回の分科会でヒントを得ました。
- ◆継続ばかりでなく、解散して一から始めるという考えも学びました。
- ◆人生100年、他人との交流がたいせつであること改めて確認できました。
- ◆コロナ禍で人とのつながりが希薄の中オンラインで人とつながることで笑顔のなり、笑顔になることが大切だと思います。
- ◆まちづくりはおじおばさんの力が必要ということと、「年の差フレンズ」というキーワードを新しくいただけてよかったです。
- ◆町づくりおける7つの秘訣が面白かったです。正しい話よりも楽しいを第一に考えてまちづくりをしていくことが、先輩方の元気や健康の元にもつながり、地域の幅広い年齢の人が繋がれるという事はとても素晴らしいことだと感じました。
- ◆地域でのコミュニケーションの取り方の参考となりました。また、オンラインでのつながりの必要性も感じました。
- ◆地域のコミュニティ作りの中で解散期の在り方がとても参考になりました。
- ◆山崎さんの進めるプロジェクトは興味深いものがありました。予算がある活動と手出しで部活のように楽しい活動が混在していましたが、自分の楽しみは自分で見つけて責任を持つことの大切さ、プロジェクトの始りと卒業期があることの発想は必要なことだと感じました。
- ◆活動している人と研究している人との差を感じました。
- ◆受講者のコメント投稿が活発で面白かったです。
- ◆「楽しい」ことをやろうと思うと自然と人が集まる、がメインのお話であったため、地域づくりという観点では興味深いお話でしたが、男女共同参画の視点をもっと取り入れてほしかったと感じます。
- ◆山崎さんの話のなかで、グループを作り分裂・分解をして広げていく。リーダーは、ながく同じところにはいないで新しいグループを作るとお話しされていました。確かに新しいメンバーが入ってこないと悩んでいる自分には衝撃でした。刺激をいただきました。
- ◆数々の事例とお話をお聞きして、男女共同参画社会自体の考え方や実際の活動における工夫点など非常に多くのことを勉強させていただきました。人と人との繋がりが地域づくりになるのだと強く感じました。
- ◆地域の活動の中で続いてきたことの継承ではなく、自分が良いと思うこと、楽しいと思えることを少しでもやっていきたいと思った。
- ◆この時期にマッチした内容で大変参考になりました。女性性のある会議、たのしいコミュニティが継続するポイントだと感じました。男性性のグループが結論だけで終わる現実に参加していて、そのとおりだと参加した皆が話しています。沖縄県から複数人参加しています。大変よかったです。感謝です。
- ◆山崎さんの対談でのお話、自身反省しました。会合での同性の行動にイライラしている自分を。寛容の大切なこと。これからお聞きしたことを心に留め活動します。
- ◆コミュニティをどのように進めていくのか、とても面白く聞かせていただきました。ついつい正論を言うてしまう自分は、ダメなんだなあと思うと同時に、少くく適当で面白い人は大切なんだとも思いました。
- ◆高齢者にとって住みよい地域はとても大切です。そしてどうゆう生き方をしたいか・何をしたいか自分の意思・目標を持つことが大切だと思いました。
- ◆高齢化社会において自分の出来る社会貢献…年の差フレンズ、作りたいと思いました。
- ◆地域づくりでの男性を引っ張り出すことが課題であったが事例から参考になったこと。山崎氏のコミュニティーデザイナーとして卓越した高齢者理解力と高齢者の行動力を後押しして実践につなげる力には感動しました。コロナ禍のオンラインはできない方に出向いて教えるくらいは必要ということ、「人と人との繋がりを種火のように残す」そのとおりと思いました。
- ◆山崎さんの、関わった多くの事例から導き出されたお話には、なるほどそうだと大いに共感できました。特に、『コミュニケーションには正論は要らない⇒面白い！の共有が肝要』『コミュニティの発展段階の分析』。
- ◆高齢者はオンラインなど厳しいから無理と決めつけないで！と言う視点も非常に良いお話で参考になります。ありがとうございます。
- ◆とても興味深い話でした。終わりを決めて、始める大切さが沁みました。話のテンポが速くて、ついていくのが精いっぱいでした。山崎さんの本を読み直し、閉会後の録画でゆっくり聞き返したいと思います。
- ◆山崎先生と吉田先生のもう少し踏み込んだやりとりが聞けるとよかったです。農村部と都市部については、自分たちで手の加えられるものがあるかないかという点かとも思う。手の加えられる土地や建物（空き家）等が今自分のいる街には、あるかということ、そのような環境下にはない。全国で課題となっている高齢化、空き家対策、移住支援等の状況は、自分の感覚では違っている。地域住民は、地域のことを自分たちで考える感覚に慣れていない。まだ1年生でこれから学習していく必要がある。そのための、楽しい仕掛けをしていける人を育て、どれだけ仕掛けられるかがとても重要だと思う。
- ◆私は、大学でまちづくり、地域活性化及び高齢社会について学んでいます。高齢社会について考える際に、人との繋がりが少なくなったり、なくなったりした高齢者が孤立して孤独にならないためには、どう対処していくのかというように考えておりました。ですが、山崎さんのお話を聞き、楽しいことを念頭に置いてプロジェクトを立ち上げたら自然と人が集まり、そして、このことが高齢社会の貢献に繋がっていくことを知り、考えの幅が広がりました。
- ◆面白い取り組みをされていたので非常に参考になったし、最初の仕掛けが面白いしその後の継続した関りもいい。2人で働かないと成り立たない社会の仕組みがおかしいと話された時はなるほどと思えた。
- ◆山崎さんの非常に素晴らしい講演に非常に刺激を受けました。当自治体でも参考にし、男女共同参画に関するワークショップ等を実施する際には実践していきたいと思いました。

分科会B〔多文化共生〕多様性を活かした地域づくり ～“多文化”を地域の魅力に！～

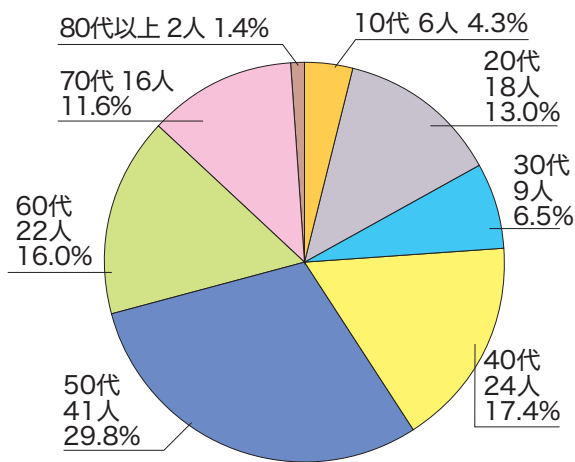
[回答数：138件]

回答者属性

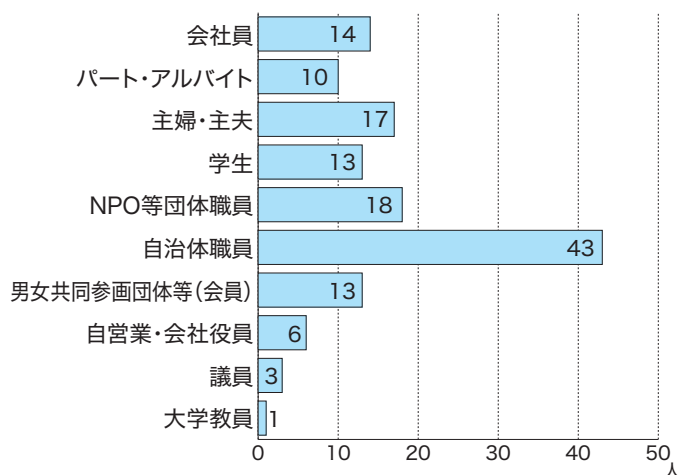
【性別】



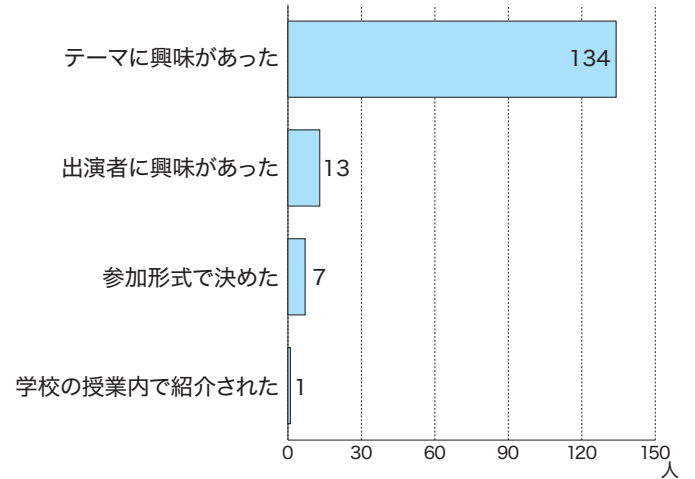
【年代】



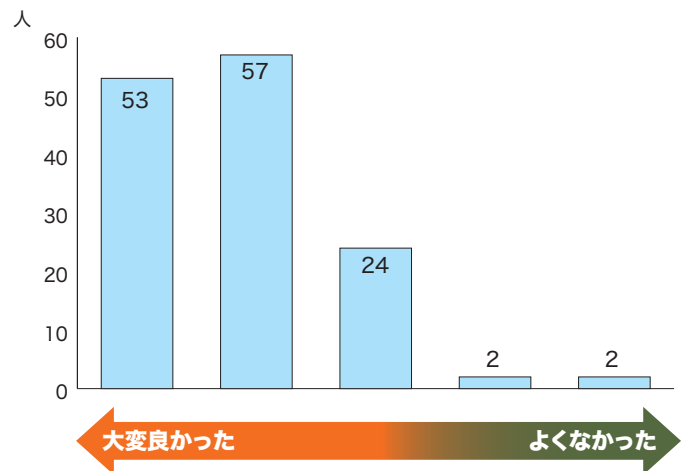
【職業・所属】



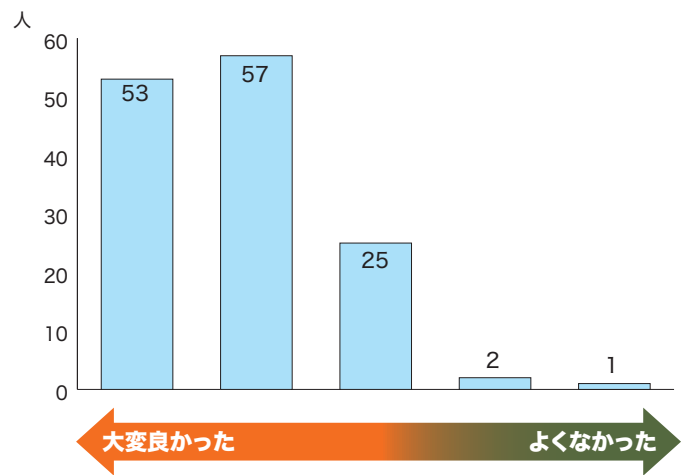
Q. この分科会を選んだ理由についてお答えください。(複数回答可)



Q. 講師はいかがでしたか。



Q. 内容はいかがでしたか。



Q. 分科会全体についてのご感想、お気づきの点がありましたらご記入ください。

- ◆まさに多文化共生のど真ん中で奮闘されている方々の生のお声を聴かせていただき、大変勉強になりました。
- ◆在住外国市民の皆様の生きた声が聞けて参考になりました。
- ◆多様性社会にとけこんでいく上に先ずは挨拶から始まるという言葉が、基本だと思いました。子供に知らない人とは口をきいてはいけないという昨今、こんにちはが言える社会でありたいです。
- ◆多様性のある社会で、みんなが笑顔で暮らすために、多様なサポートが必要と思いました。他人を思いやるため、いろいろな気付きが必要で、良いきっかけになりました。
- ◆それぞれのパネリストが経験を生かしてサポートする側になっていることを知って感心しました。多文化共生と言うことで関心を持ちましたので、男性の方の経験も聞きたかったと思います。
- ◆講演・パネルディスカッションの構成や時間配分のバランスがとても良く、最初から最後まで興味深く受講できた。特に、講演で、実際のデータ等を参照された資料を参照しつつ、社会全体の問題点を説明いただいた後に、パネルディスカッションで現場(身近な環境)の声をコーディネーターやパネリストの方から伺うことで理解が深まったように感じた。
- ◆大学で在日外国人の課題について研究しているのですが、今回、「外国人・外国ルーツ」プラス「女性」という新たな視点から色々知ること・考えることができとても良かったです。こういった視点に気付くことができた一人として、今後、地域の多文化共生を実現できるよう行動していきたいと思えます。
- ◆コミュニケーションや思考することに言語が大きな役割を担っていることに気づかされました。地域に生活されている異なる文化を持った方たちの困難に気づき適切な声かけができるよう心がけたいと思えます。
- ◆外国人の方々が苦勞されて日本の社会・地域で生活され、頑張って仕事を持ちたり助け合ったりされていることを再認識しました。たくさんの方が大きなフェスティバルをされていることもあまり知りませんでした。日本は少子高齢化が加速し、ますます外国人の方の力を必要とする時代になった今、この分科会は意義があるものだったと思えます。
- ◆皆さんがそれぞれ苦勞された話を知り、日本人として今後何を気をつけて外国の人たちと接していくべきか、とても考えさせられました。苦しんだ時期を経て今は支援する側になる、という言葉がとても印象に残りました。
- ◆自分の住む町にも外国籍の方は格段に増えており、多文化共生への理解は急務と感じる。先進地であるあいち刈谷エリアでのお話が聞きたいへん興味深かった。学校からの通知文や手続き一つとっても外国籍であれば、たいへんな苦勞があるだろうと思った。デジタル化することで、翻訳ソフトが使えるなど気づきが多かった。相手の事を思いやり、寄り添う力が私に必要だと感じた。
- ◆パネルディスカッションは、できれば外国の男性の方も含めて、さらに国も全部違ったパネリストであればまた違った視点での話が聞けたと思うのでちょっと残念です。
- ◆この分科会に参加しないと分からないことが沢山学べました。特に最後の、発言をした方に同意の声を上げる雰囲気づくりが大切、という指摘は刺さりました。良いコミュニティづくりのために、私もできることから始めたいです。
- ◆私自身、結構外国人支援について調べていたつもりでしたが、DiVEの活動など知らないことが多く、勉強になりました。私自身が学生でもあるため、外国人の学生の方の声も聞けたら、もっ

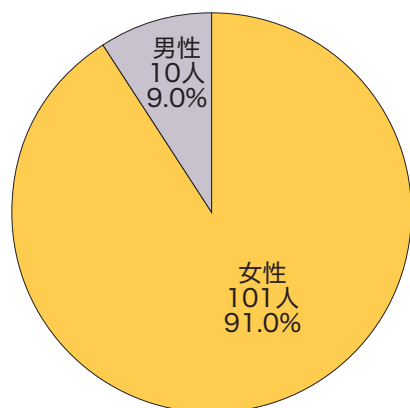
- と共感できる話や新しい発見ができたのではないかと思います。
- ◆コロナ禍において外国にルーツを持つ方々も特に女性に大きな負荷がかかっていることが改めてわかりました。
- ◆外国ルーツの人への問題点は女性・弱者への問題点と重なることを再認識した。様々な人が意見を言える環境を作っていくことが大切だと痛感した。
- ◆外国人が抱える二重の壁ということについて、よくわかりました。地域のコミュニティカフェなども増えていますが、日本人でもほんの一部の人しか利用していないのが現状で、なかなか外国人の方が気軽に足を運べるようなものは足を運べるようなものがないようです。外国籍や外国ルーツの方だけでなく、様々な人たちの困りごとに、地域全体で関心を持っていくことが大切だと思いました。
- ◆神田先生が総括されていたように、同質の集団では気づきが出ない、異質なものが混ざり合いそれぞれの視点から率直な意見を引き出し、制度を構築することが大切だということが理解できました。牧野さんのコーディネートがとてもよかったです。
- ◆外国人との交流が増えている時代で、異文化による差別やいじめが起きないようにどうしたらよいか。これは日本人が気づくこともあるけど、実際に経験した方(本日講師としてお話しくださった方中心)にしかならないこともあって、それを今回お話し聞いて良かったです。これをきっかけに異文化交流がより盛んになり、メンタルヘルスによる自殺等が起こらない社会になっていけたらと思えます。
- ◆文化が違えば言語が異なるのはもちろん、教育や生活のルールが大きく異なるため、本日実際にお話を聞いて、日本で生活するうえでマジョリティには気づくことが難しい悩みが多くあるのだと感じました。今まで、留学生をサポートするボランティアを二年以上行ってきましたが、日本人学生から彼らの声を実際に聞くことで、発見できた悩みが多くありました。日本での異文化交流を盛んにするには、日本人の私たちが積極的に交流の機会に参加し、生の声を聞くことが大切だとより実感しました。
- ◆学校のお知らせをデジタル化することや、参加しやすい日本語教室の時間帯など新たな気づきが得られました。このように、外国出身の方も、一人の住民として意見が出せる場が必要だと感じました。
- ◆コーディネーターさんが、柔らかな口調で押しつけがましくなく、パネリストの声を引き出してくださって良かったです。実際に、こどもや家族がウツになったときの話は、かわいそうでしたが、それを乗り越える仕組み作りが大切との、講師さんがまとめて下さり、学びと気づきをいただいた、有意義な内容でした。
- ◆2重の壁(女性+海外出身者)を超えるために、その人の持つ特性を引き出し伸ばすこと、環境・制度を整え、サポートをし、すべての人が参画することの重要性を学ぶことが出来ました。
- ◆ものづくりの町・刈谷ならではの、外国人労働者の問題とか知らないことがたくさんあって学べた。外国人技能実習研修生については、昨今犯罪などの問題も多く、コロナもあって皆さんの生活も心配だ。さらに災害時に、情報が行き届かない言葉の壁、心の壁、法律体制の壁の三つが重なり、これを工業都市愛知・名古屋ならではの変えてほしい。

■分科会C (DV) だまっとれん! コロナ禍でもDVを生み出さない社会へ

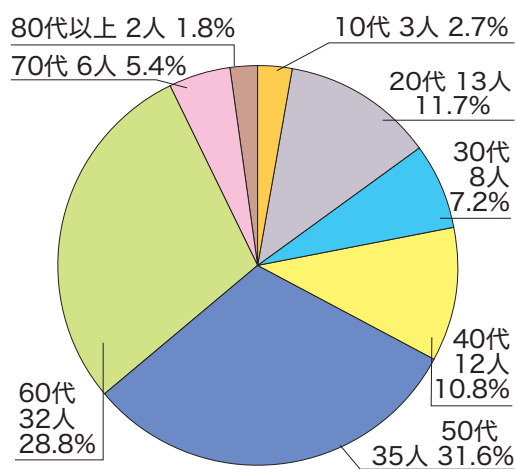
[回答数：111件]

回答者属性

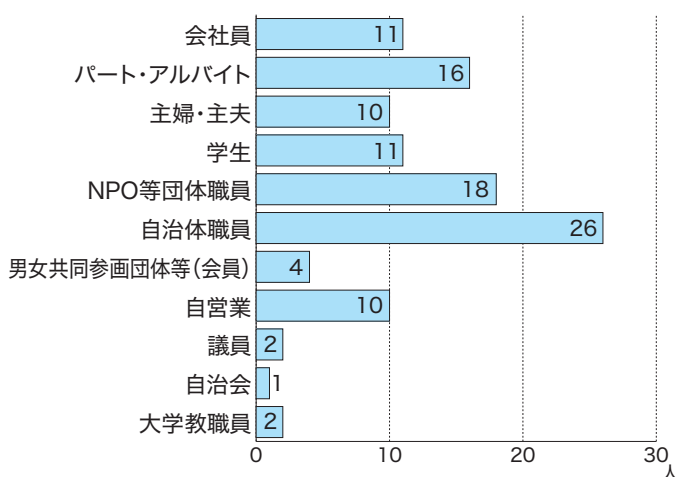
【性別】



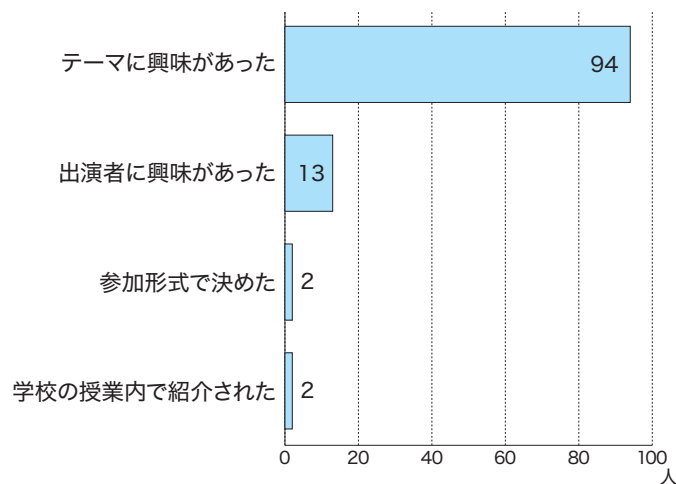
【年代】



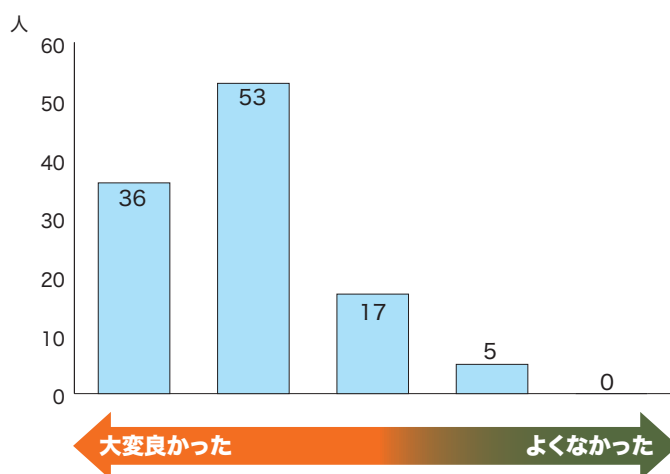
【職業・所属】



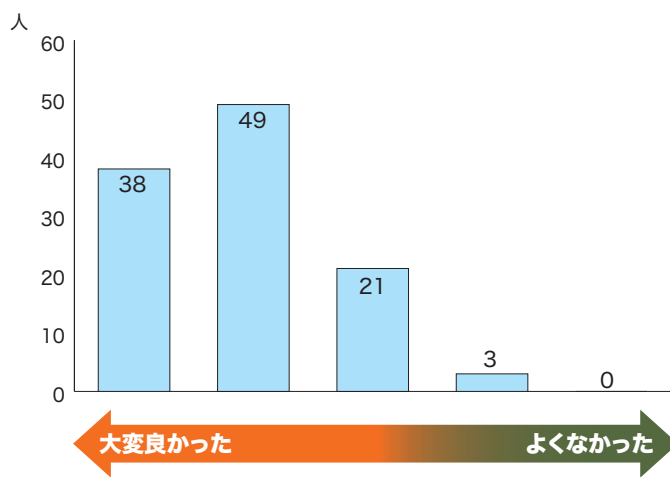
Q. この分科会を選んだ理由についてお答えください。(複数回答可)



Q. 講師はいかがでしたか。



Q. 内容はいかがでしたか。



Q. 分科会全体についてのご感想、お気づきの点がありましたらご記入ください。

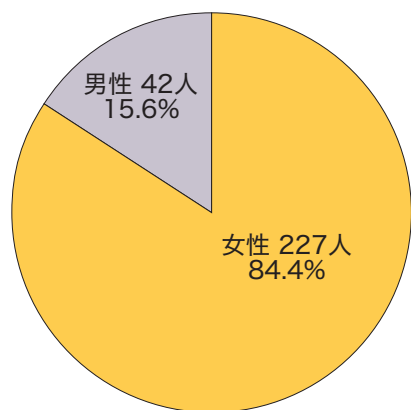
- ◆被害者の保護・支援と同時に、DVの連鎖を止めるためにも若年層（特に中高生）に対するDV防止の意識啓発が大切だと思います。
- ◆手元に資料（データまたは紙）があったほうが、聞き逃しや見逃しを自分でフォローできるのでありがたいです。
- ◆DVは子どもの将来に影響を与えることの認識があまり知られていない現実気づかされました。
- ◆DVについてただ逃げるというだけでなく、その後の自立への力に焦点があり、興味深かった。子どもへの面前DVということについても、親と子は一体ではなくそれぞれであり、その対応もアンテナ高く社会の中で取り組まなければならないと感じた。対等な交渉力ということについて、考えるきっかけとなった。ジェンダー平等のヒントがそこにあるように感じた。
- ◆最初の漫画であるある含めてバリエーションに富みとても良かったと思います。
- ◆様々な立場の方の意見がうかがえて良かったです。DVは、男女問わず年齢問わずという意識が大切だと思います。
- ◆DVは、ネガティブなイメージですが、ポジティブな「成長」につながるというが、印象に残った。
- ◆DV被害者は加害者から逃れてもその後の生活再建や関係性の回復・心理的な回復には幅広い支援が必要だ。その社会資源が追いついていないところが問題と感じた。途切れない支援をどう実現していくのか。男女共同参画の相談事業にも考えられることがあるのではないかと感じた。
- ◆DVの被害者の支援だけでなく、そもそも加害者を出さないことへの何か手立てはないものか？とっていたのですが、精神的暴力を考えると気づかぬうちに自分も加害者になっているかも？と思うと「知る」ことが大切だと思います。
- ◆男性学に興味がある学生として、「加害者臨床」という言葉を学べてよかったです。なぜなら、男性は痴漢やDVなどで加害者として見られがちですが、加害者になってしまうことには何かしらの原因があるのだということを改めて思ったからです。
- ◆「だまっとれん」がキーワードのDVについての分科会でしたが、まさにそのことばを実感しました。だまっとれんと声をあげられる被害者が一人でも増えるような支援が必要だと思います。
- ◆今回は被害者支援の話題が中心でとても勉強になりました。一方でDVを生み出しにくい社会構造のためにどのようなことが必要か知りたいと考えていく必要があるとも思いました。
- ◆今回の内容を聞いて、被害者を肯定してあげて、相談にのり見放さないようにそばにいてあげることが大切なことだと気づきました。
- ◆もう少し自由な意見交換ができると良かったです。
- ◆被害者の経験談をお聞きする中で、一度受けた被害が長く自身の心や行動に影響を与えることがとても印象的でした。ケアするすべが整っていけば、と強く願います。また、プレゼンの中にあつたPTGによって、次の当事者を支えるきっかけにつながればと思います。
- ◆座談会の時間がもう少しあっても良かった。被害体験者の参加もあつたらよかったのではないかと。
- ◆リモートによる分科会で難しい点も多かったと思いますが、ありがとうございました。「親と子は別人格」「調停自体が回復のプロセスにもなっている」「相談の取っ掛かりはどこでも良いが、その人が必要とする相談先につながるシステムづくりが大切」「そばにいたことが力になる」などの言葉が心に残っています。
- ◆現在のDV被害者の実像や支援のあり方がよくわかりました。DV加害者更生も被害者支援の一環として行っています。参加できて良かったです。
- ◆増井先生の「PTG」が印象に残りました。人権さんのSOSミニレターの取り組みもよいなと思いました。法律相談が高校生くらいからであれば利用できることを初めて知りました。4名のパネリストそれぞれの立場でお話がされたのはとても有意義でした。
- ◆時間がみじかくても、よくまとまっていました。DV支援も簡潔に進めばいいですが、人間関係は複雑だからコミュニケーションの大切さが問われると思いました。
- ◆多岐に渡ったお話やまたチャットの内容もあり大変だったと思いますが、短い時間の中で濃いお話を聞けて良かったです。人として、相手の背景を含めて理解していく大切さを感じました。
- ◆DV相談に繋がることで、やっぱりDVなんだと気づき、行動へのきっかけになるという講師の話から、DV相談の拡充やDVについての広報の充実が必要だと思います。漫画とナレーションでDVを説明する方法は親しみやすくていいと思いました。見えにくいDV（人間関係の孤立、セックスの強要など）についても作って、活用していきたいと思いました。
- ◆皆さん、全員真剣に取り組んでいらして、頭が下がる思いですが…ちょっと内容が真面目、堅苦し過ぎた感じがします。実例を出すのは難しいとは思いますが、実例を出してその人がバージョンアップしたまでを解説を交えながらの方が私には理解しやすかったかな…でも聴いて良かったです。
- ◆大変難しい内容を取り上げていただきありがとうございます。身近なところでDV事件があり、興味があつて受講いたしました。この時のDV被害者からは相談されたことがありませんでした。そんなそばりも見せてなかったため、同じ女性として、友人としても衝撃的な事件でした。その人の背景も考えて対応ということに納得しました。子どものいじめっ子、大人のいじめっ子と同じです。加害者対策が重要だと思います。DV対策としては、DV加害者を生まないような優しい社会を望みます。子どもには責任はないと思いますが、DVの連鎖は恐ろしいと思うので、早めの対応で何とかしたいですね。
- ◆研究発表はとても興味深いものでした。DVからの回復はとても大変なことと聞いていたので、回復するチカラがあるのだということが希望につながると思いました。パネルディスカッションは少し準備不足かなと感じました。もう少し深い話を期待していました。
- ◆社会全体のひずみが弱者的存在にかかってくる。男女共同参画社会を進めなくてはと思います。日本はこれからです。

分科会D (防災) 生き抜く防災 with コロナ ～アウトドアから学ぶ新しい知恵～

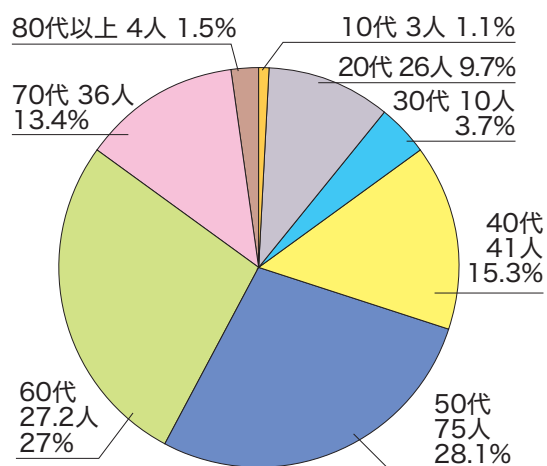
[回答数：269件]

回答者属性

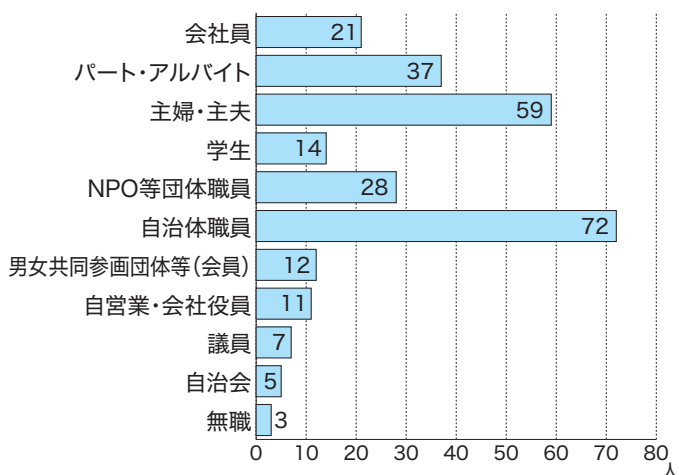
【性別】



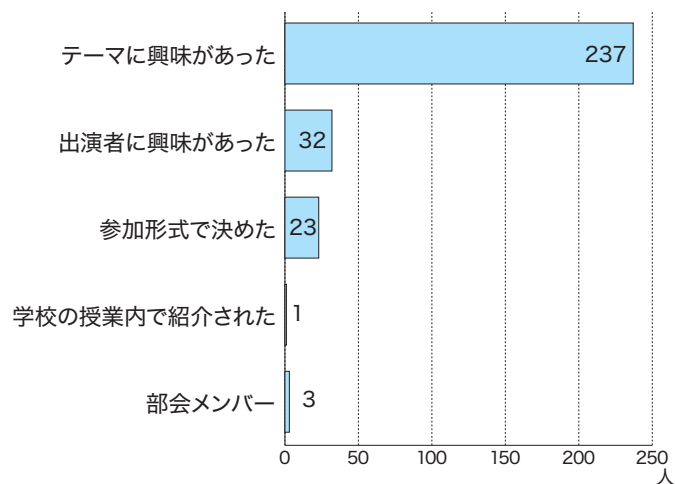
【年代】



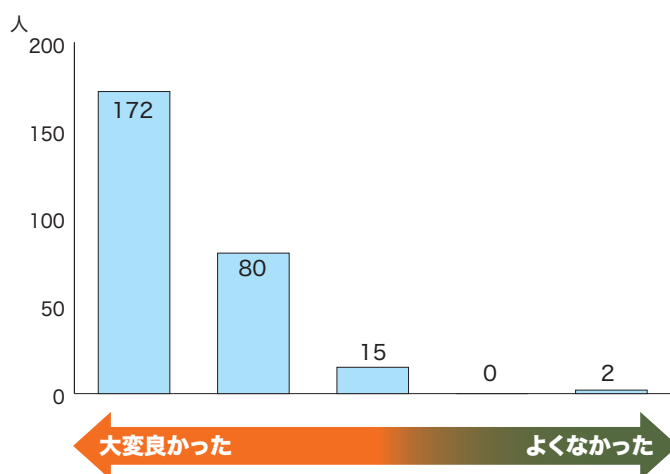
【職業・所属】



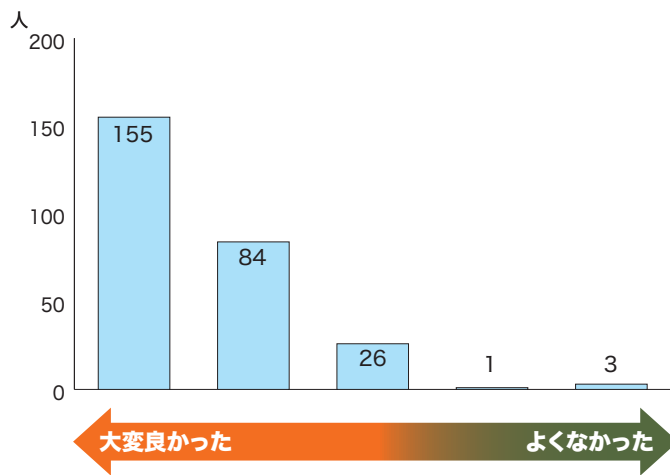
Q. この分科会を選んだ理由についてお答えください。(複数回答可)



Q. 講師はいかがでしたか。



Q. 内容はいかがでしたか。



Q. 分科会全体についてのご感想、お気づきの点がありましたらご記入ください。

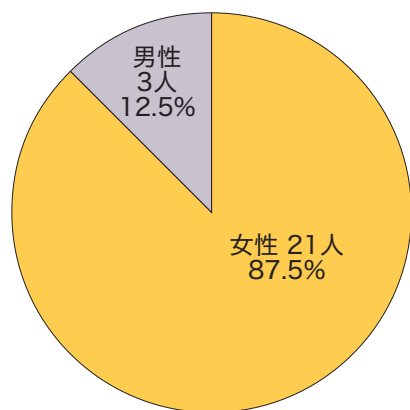
- ◆自分を守るため、またその中で女性がいかに活躍できるか、という難しい課題ではありますが、とても参考になりました。
- ◆佐野市の災害、避難所についてもっと知りたいと思った。
- ◆安藤さんの講話に男女共同参画の、視点がしっかりと盛り込まれていて大変良かったです。
- ◆今回の講演では、あつてると思われているが実は間違っている例をたくさんお話しいただき、正しい方法や知識を知ることが重要であると改めて感じました。
- ◆男性のゲストの意見も聞きたかった。
- ◆防災に男女共同参画の視点が重要であることが分かった。特に具体的な防災の方法や考え方、道具など示して下さり、分かりやすかった。
- ◆アウトドアと関連付けられ有益な内容でした。
- ◆災害時のさまざまな弱者支援について、もう少しお聞きしたかったです。時間的に難しいとは思いますが。
- ◆安藤りすさんの講義がとても良かったです。佐野市からパネリストを防災の分野で招聘したのも会議の意義を深める上で効果的だったとおもいます。
- ◆あんどろりすさんの講演の内容は非常に興味深いコンテンツばかりでしたが、少しスピードが速くついていくのが困難な部分もありました。しかし、もっと勉強したいと思える素晴らしい講演でした。あんどろりすさんの講演の間にも、いろいろなリンクを高木さんがチャットにはってくださったので、今後自分でいろいろ勉強していくことがしやすい良い運営だったと思います。オンラインならではのチャット機能を上手く使用された良い分科会でした。
- ◆安全神話にどっぷり浸かって、よその場所で起こった出来事くらいに思っていたので、すごい衝撃を受けました。女性だからできる事、男性だからできる事、皆で力をあわせて協力する事、備えの大切さが、防災の大切さが理解できました。本当に参加してよかったです。
- ◆押し付けの避難所ではなく いる人の希望が叶う避難所 考えさせられました。
- ◆阪神大震災、東日本大震災、また熊本の地震、豪雨、などそのたびに進化しているものの このコロナ禍ではどうなのかなど考えて望んだ分科会でしたが講師の方の明るさに驚いた ボランティアも気負わないでやれる範囲でやればいいのかと 再発見させられた。
- ◆日本では3密状態の避難所が通常だが、スフィア基準より低いと知ってショックを受けると同時に納得するところがあった。3密、プライバシーもない状態の避難所では避難をしたいとは思えない。避難しやすい環境作りが大事だと思った。
- ◆防災を柱にジェンダー・コロナ・アウトドアさまざまなことが学べました。ゲストの佐野市のお話や、地域の取り組みなど、年代もさまざま、興味深かったです。自分自身はどうなのだろう、なにを行動につなげることができるだろうと考える機会にもなりました。
- ◆日ごろから主体的に女性の声を上げていく事が、大変重要だと思いました。
- ◆刈谷市はまだ災害に遭遇してないせいか、地域の方たちが防災訓練に参加する人が少ない。これからはより多くの方に参加できるよう頑張っていきたいと思います。
- ◆参加者からの質問に答える時間があれば、もっと良かったと思う。
- ◆防災と男女共同参画とアウトドア 共通点は日頃から防災への意識と取り組めることへの参加が大切と感じました。
- ◆男女共同参画の視点から防災を考える重要性を学びました。
- ◆アウトドアが注目されているこの時期に、楽しみながら学ぶということ、多くの人たちと共有していきたいです。
- ◆とても濃い内容の分科会で参加して良かったです。防災の学習は、何回も何回もいろんな人の経験などを学ぶことで身につくと思いました。
- ◆あんどろりすさんのお話は初めてお聞きしました。アウトドアが防災とつながっていること、実例がたくさん挙げられてよくわかりました。アウトドアはちょっと苦手ですが、見方が変わりました。ゲストのみなさんのお話もそれぞれにとっても関心が持てました。高木さんの進行、とてもよかったです。私も自分のできることを考えて、ワンアクションしたいと思いました。男女共同参画も防災意識もすぐには変わらないとは思いますが、大勢の方が地道に努力されていることはとても励みになります。
- ◆これまでも、災害と人権の講演等を聞いてきましたが、実際に私自身が災害に直面していないため、普段、人権や男女共同参画目線での対応を呼びかけたり取組を促すことを進める位置にいますが、今日のお話を聞き、やはり自分事になっていなかったなと反省しました。支援とは？男性・女性・大人・子ども・高齢者そのカテゴリーだけでは全く判断できないこと、義務ではなく権利であること、非難をするときに自分で判断できる人の育成、などなど本当に参考になり自分自身を見直すきっかけになりました。
- ◆アウトドアからの防災のガイドは納得できるものでした。災害がいつ身近に起きるかは本当に他人事でない日々です。配布チラシや資料は今に沿うものが大切であること。自分の知識も新しく詰め替えができたことに感謝します。
- ◆若い女性の防災意識と行動を学ばせて頂き、地元同世代への波及の必要性を強く感じています。
- ◆とても内容の濃い、示唆に富んだお話がたくさん聴けました。男もがんばらなければ。。
- ◆防災と男女共同参画の視点がよくまとめられていてとても良かったです。
- ◆実践的な内容で、あんどろりすさんの「低体温症にならないように、濡れないようにすることが大切」というお話など、初めて得る知識が多くありました。
- ◆コロナ禍で大きな災害が起きたらと、不安でいっぱいでしたがそのおかげで否応なしに避難所の3密を回避する対策が強化されたとすれば怪我の光明なのかもしれません。その上でジェンダーの視点が盛り込まれた避難所運営をするために学びを生かしたいと思います。佐野市から当事者の声を届けてくださった永島さん、どうもありがとうございました。また、りすさんのお話からはアウトドアで自然に楽しみながら楽しく命を守るすべを身に着けておくことはとても大切だとわかりました。
- ◆男女共同参画の視点がしっかりと盛り込まれ、かつその重要性がよく伝わったのではないかと思います。

分科会E（男性にとっての男女共同参画） みんなで語ろう リモート座談会

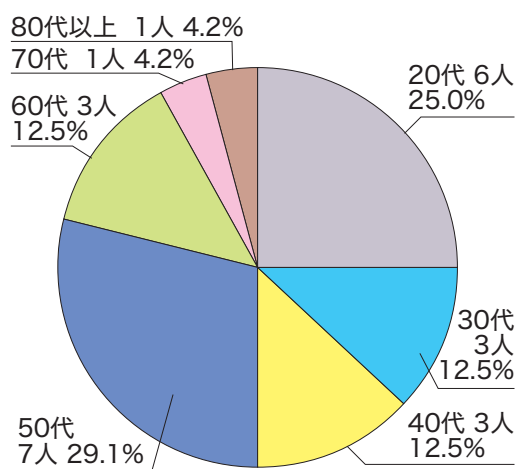
[回答数：24件]

回答者属性

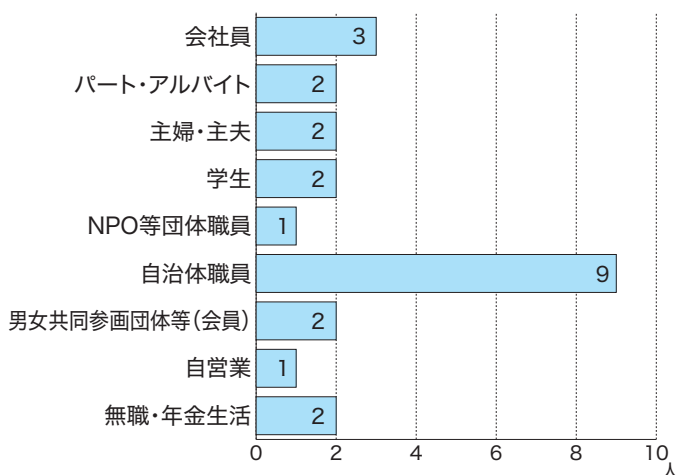
【性別】



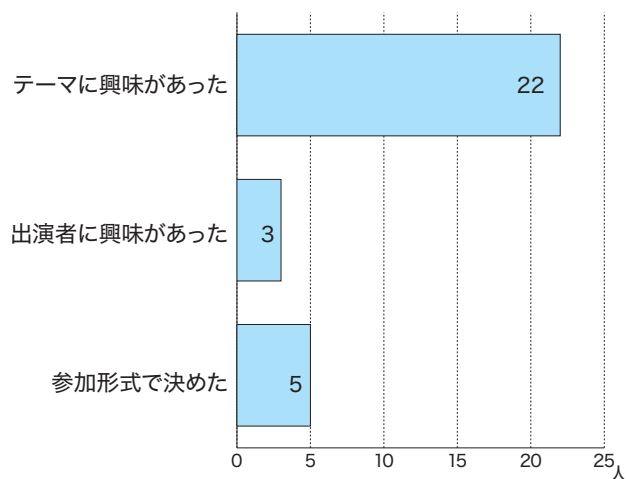
【年代】



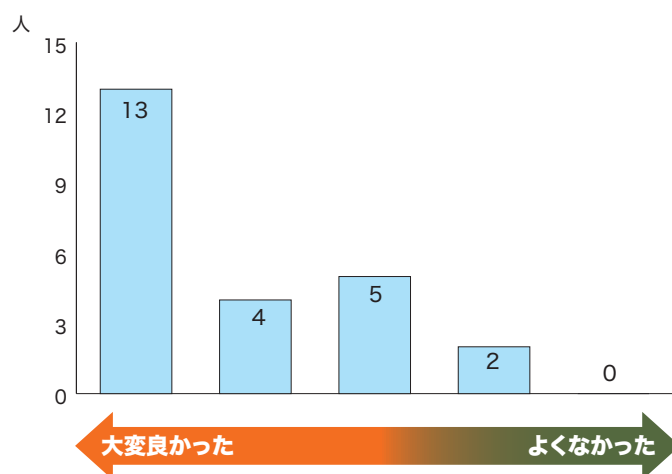
【職業・所属】



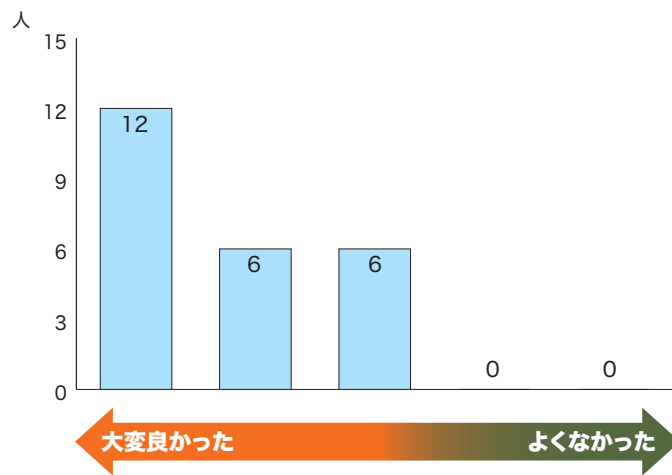
Q. この分科会を選んだ理由についてお答えください。（複数回答可）



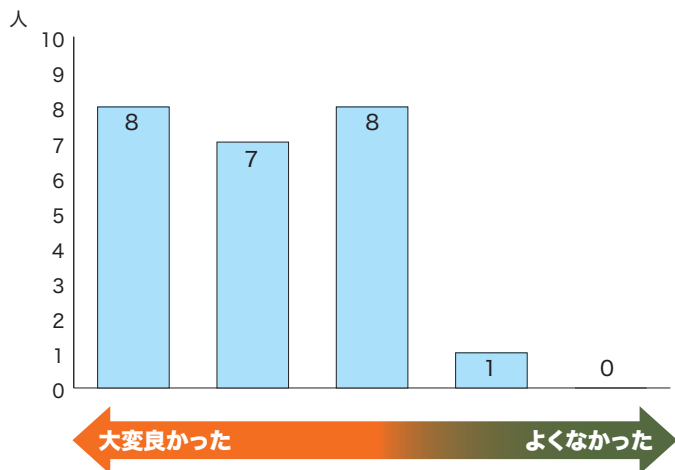
Q. 講師はいかがでしたか。



Q. 内容はいかがでしたか。



Q. グループワークはいかがでしたか。



Q. 分科会全体についてのご感想、お気づきの点がありましたらご記入ください。

- ◆川島先生の話は、先生ご自身の実体験からおっしゃっていたことが多かったため説得力があり、面白かったです！しいて言えば、ビデオは30分ではなく、20分程が適当な長さだと感じました。
- ◆男性にとっての男女共同参画というのに興味がありましたが、「男性ももっと家事や育児に！」という既視感満載かつ結構当たり前になりつつあるテーマで、ちょっと肩透かしをくらった感じがしました。正直、ミレニアル世代以下にはすでに根付いた価値観であり、今更このような内容を大きな会議で発表することにちょっと驚くと同時に、それくらい年配の方の価値観は凝り固まっていると知りました。私のグループは地方自治体から仕事で参加されている方が多く、日本中でこれを問題としていて、公的なところが取り組みをしようと参加されているのを知って、希望になりました。あとは、冒頭のアンケート結果が大変参考になり面白かったです。
- ◆リモート座談会でわたしのグループは全員ビデオがオフでお顔を合わせることができませんでした。ビデオにしてみんなで顔を見ながらできたらよかったです。
- ◆初めてオンラインでのグループワークに参加しました。慣れていないためか、とても疲れました。どのタイミングで発言してよいのか、どう質問してよいのか、慣れてくるともっとスムーズにできるのかもしれませんが。
- ◆核家族、共働きが普通の時代にジェンダーにとらわれた性別役割分担ではなく、職場においてもその考えがもっと浸透すればよいと思った。いくら制度が整っても、結局は人。ジェンダーに捉われた人が多い環境では、育児や介護で仕事を休むのは女であるべきだとされ、働き手が少ない職場の中で女が仕事と家庭を両立することは困難である。男性の育休も同じ。いくら制度が整っても、そんな環境であり働き手も少ない中で、男が「育児のために休みます」と声を上げることが出来る人なんて、社会にどれくらいいるのか疑問である。

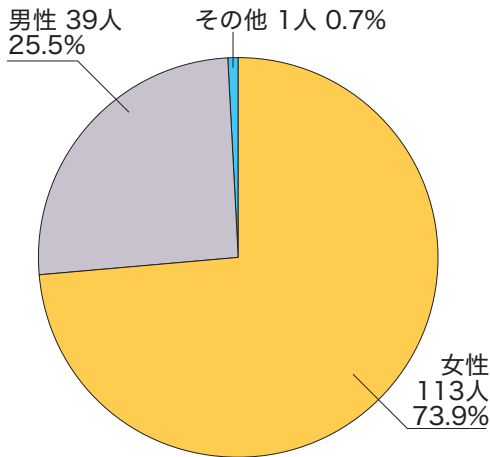
- ◆皆様のご意見を伺い、新しい価値観に触られました。
- ◆オンラインでのグループワークよかったです。
- ◆扱うテーマが古い。女性は家庭男性は仕事という固定役割をどう思うか、という質問を小学生にすることそのものが、そういう固定役割を植え付けかねない。もっと様々な暮らし型のロールモデルを提示するなどの方が良いと思う。
- ◆グループワークのテーマ1つずつについて話をする時間が少なかった。
- ◆雑音が入ったりするハブニングはありましたが、オンラインでの意見交換会、有意義でした。
- ◆男性講師のいつまでもゲタをはいた上から目線の発言にがっかりです。ですが、グループトークではファシリテーターの方の受容力、包容力がよく、楽しいトークになりました。まだまだジェンダー平等社会になるのはこれからですね。がんばりましょう。
- ◆リモートなので、会話への参加タイミングが難しかったです。
- ◆家庭は夫婦で築いていくのが理想。理想はあくまでも理想です。現実には、経済的にはやはり男性に頑張ってもらわないと・・・社会が企業がもっと女性の能力を評価し賃金を引き上げてくれないと・・・知り合いの方でイクメンの方もいますがその方々を見ると公務員の方が多いと感じる。最近 保育園へ子供を送って行くお父さんは非常に多いです。少しずつ子育てにも参加しているお父さんが多いのは共感です。(夫婦で働かないと経済的に大変なのかも?)

●分科会F【ライフ・ワーク・バランス】一人一人が輝く未来～モノづくりの愛知から～ 参加者アンケート

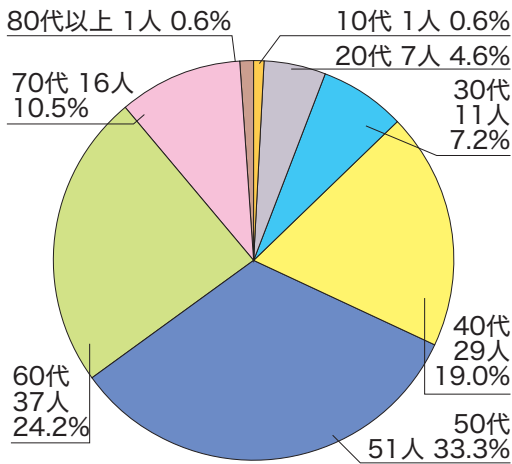
[回答数：153件]

回答者属性

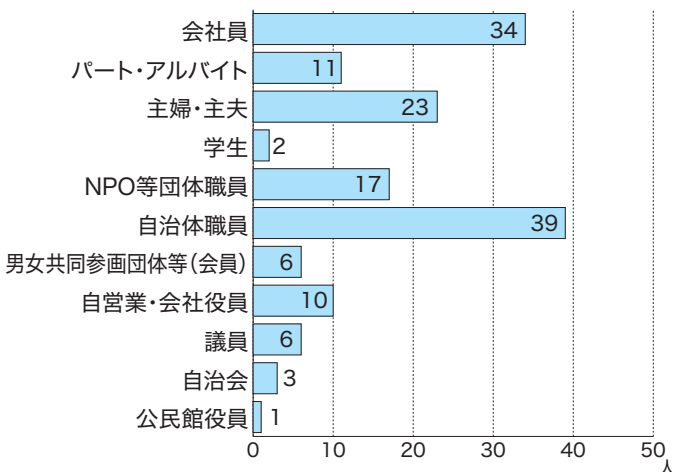
【性別】



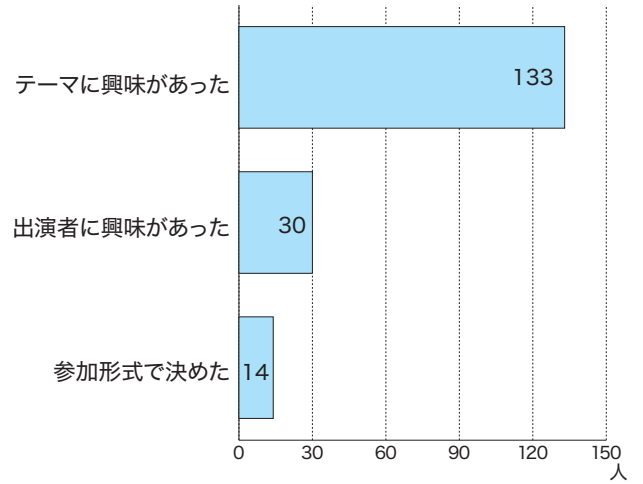
【年代】



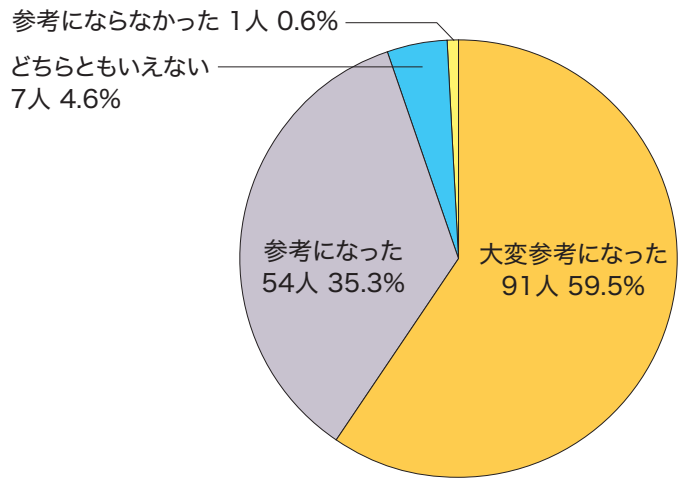
【職業・所属】



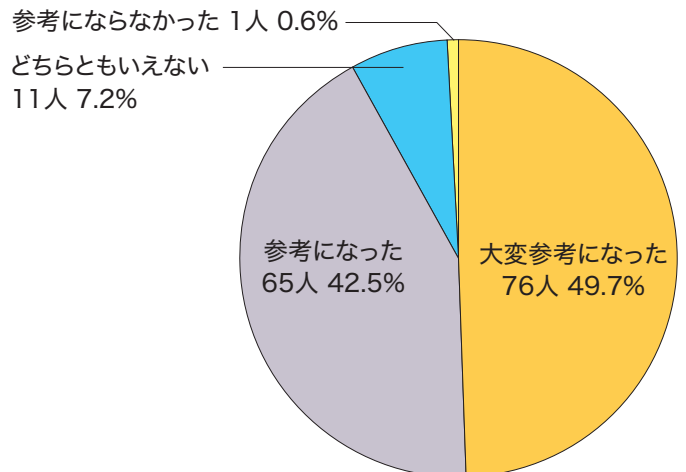
Q. この分科会を選んだ理由についてお答えください。(複数回答可)



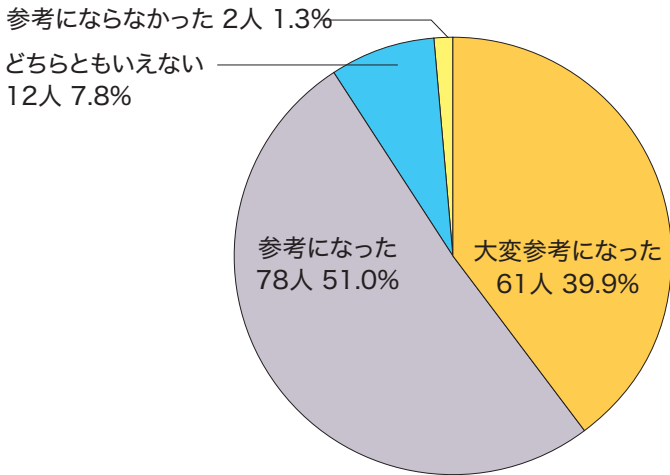
Q. 講演は参考になりましたか。



Q. 企業事例は参考になりましたか。



Q. パネルディスカッションは参考になりましたか。



Q. 分科会全体についてのご感想、お気づきの点がありましたらご記入ください。

- ◆とても上手に運営いただき、飽きることなく見ることができました。ありがとうございました。投票のシステム、とてもいいですね。スマホで見ていたので、コメントがくるとスライドの下の部分が見えなくなることだけ気になりました。
- ◆参加者の職業に偏りが大きいことは、課題と感じた。一方で、行政職員の参加が多いことで、行政改革につながる為の意識改革に繋がることを期待します。
- ◆身近な他社さんの事例も参考になりましたし、サイボウズのフィロソフィを共有頂いて、自分の中でふわっとしていた「みんなもっとわがままにやりたいこと主張すればいいのに」という思いがアリなんだなと気づけて嬉しかったです。我慢・忍耐が美德とされてきた日本で、みんなでわがままに生きていける風土を作りたいです！
- ◆ワークはライフの一部、働き甲斐改革、公正と公平は違うなど、キーワードと共に多くの学びをいただきました。「変えられないのは自分自身の問題」、「自身のありたい姿」目指します。
- ◆今年ならではの内容で、あらためてワーク・ライフ・バランスを考える機会になりました。テレワーク移住など地方も頑張っています。そういう意味ではチャンスですが、まさに、都会にとられてしまう、と言う発想は目から鱗でした！地方も足元をよくみて、我々自治体も考えを改めないとなりませんね。
- ◆働き方改革の一環として、年に1~2回本社よりアンケートがあります。働いているうえで、何がつらいと思うのか、どうしたらいいと思うのか、などの質問がありますが、つらいことは入力できてどうして欲しいというアイデアが今まで浮かばなかったのです。今回で登壇いただいた方の数々の事例を聞き、私はそうして欲しかったんだ！こうしたらみんながもっと活躍できて、離職率がさがるのではないかと、次回のアンケートにはたくさんの事をアイデアとして本社に伝える事ができそうです。
- ◆各企業の働き方改革の可視化された図が参考になりました。コミュニケーションや感動を重視、自主自律、モチベーションの向上等の取り組み事例も参考になりました。
- ◆サイボウズの企業理念は前々からメディアで紹介されていたので、実際に役員の方からそのお話が聞けてとてもよかった。職場の規模は全く異なるが、参考になる部分が多かった。また仕事への向き合い方などにも感銘を受けた。

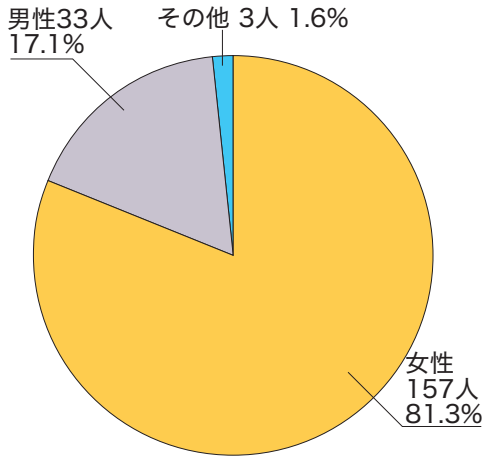
- ◆今回はテレワークができる職種でしたが、医療・福祉職の様にはテレワークができない職場ではどのようにすればいいのかお伺いしたかったです。
- ◆コロナ禍以降報道等で在宅勤務推奨、通勤して出社するのを悪という誤解を招きやすくなっており、話にも出ていたリモートワークができないと人材を集められないということになれば、製造業は人材難→在籍社員の負担増→ライフを削るという悪循環に陥るのではないかと、製造現場で働く魅力をどのように出すべきなのかが知りたい。
- ◆有給休暇・働く人の安心安全と生産性は反比例するような考え方を長くしてきた日本社会で、基本的なことでは比例することがあたりまえに感じられる社会に向けて肯定的なことばで経営者と話していくことが、やはり大切であると確信できました。
- ◆中根講師のサイボウズの立ち上げ期発展期事例は大い興味ひかれるものでした。チーム戦で何かを行うためには情報共有⇒見える化がポイントというお話は地域コミュニティづくりにも通じ、今後役立てたいと思います。
- ◆コロナ禍で今まで同じ環境で生活や学習をすることが難しくなり、大学の講義がオンラインになるなど様々な変化がありました。今回は感染症の流行になって状況が変わりましたが、お話いただいたように災害時なども同じような対策が必要になると考えます。在宅で行えるオンラインを使用した業務や学習の活用は、ライフワークバランスにおいて重要であるだけでなく、状況変化に対応するための手段でもあるのだと感じました。
- ◆非正規雇用の立場の人が、個人の働き方を企業に求めることは難しいと感じます。それでも、個人の意識を変えていくことが、別の立場の人により影響を与えようと思うので、今回のお話で参考にさせて頂きたい点がたくさんありました。
- ◆大手の企業のみなさんの職場で考えている方向性が分かりました。コロナ禍でも企業活動が停滞しないように、努力されている様子も分かりました。テレワークで時間ができたことで個人がしたいコトが発揮される、そしてそのコトが企業活動にも生きるようにする・・・未来社会につながるやりがいのあるお仕事とと思いました。できれば正規も非正規も関係なくそのようなことができる社会を目指したいものです。現実にはマズローの欲求段階説（6段階までであるとの説あり）で「生命の危機」にある方が増えています。企業活動ではテレワークで地域を超えて活動ができるようになりますが、一方、生活の格差が広がっていることも含めて「地域」を良くすることが企業活動のミッションの一つだということも押さえておきたいことと思いました。
- ◆若い人の、考えが、よくわかった。シニアから、みると、我慢が、足りないのでは、と思うけど、このエゴが、イノベーションに、繋がるんですね！
- ◆コロナ禍において、日本の働き方をアップデートする必要性について学ぶことが出来ました。また、事例発表では既に働き方改革に積極的に取り組み、成果をあげている企業の方が登壇者となっており、パネラーの選定・内容とも素晴らしかったです。
- ◆各企業の取り組みや意見交換が充実しており、女性の方が活躍されている姿を身近に感じることができて、いい分科会だったと思います。
- ◆皆さんの言葉に意味があり、心に響きました。「自分のなりたいた姿を描き自身が変化すること」「個人の働き方を変えると会社が変わる」「ものづくりから事づくりに変える」「産業中心から多様な人が中心に」など、なるほどな、とうなづいて聞く事が多かった。

■分科会G（性の多様性）生と性の多様性をみとめあうために～教育・企業・行政の立場から～

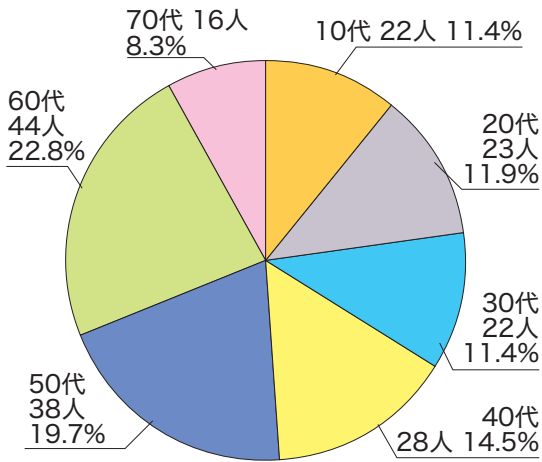
[回答数：193件]

回答者属性

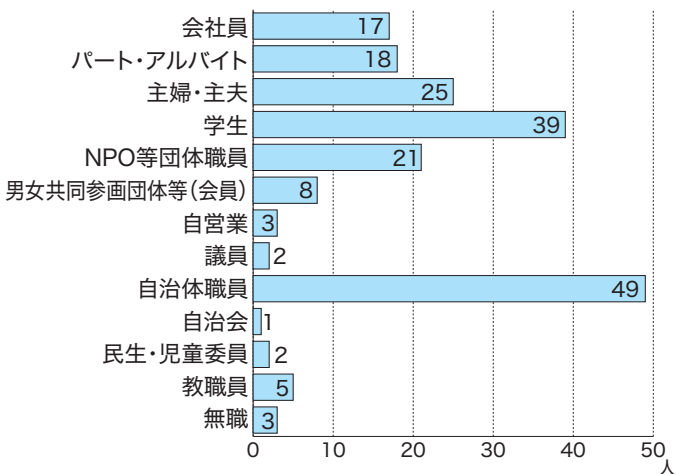
【性別】



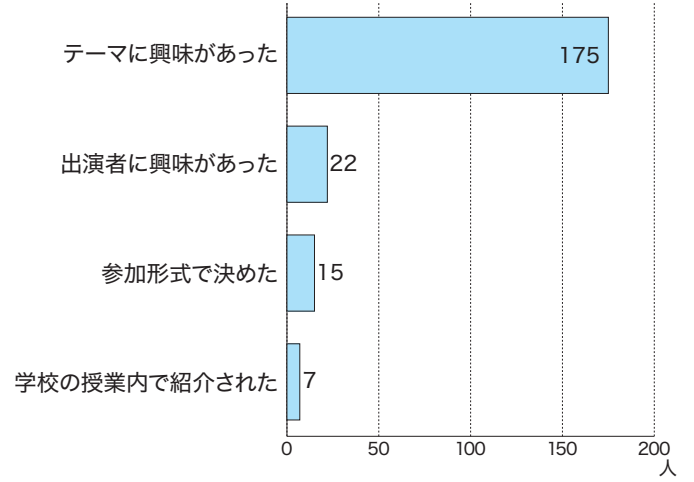
【年代】



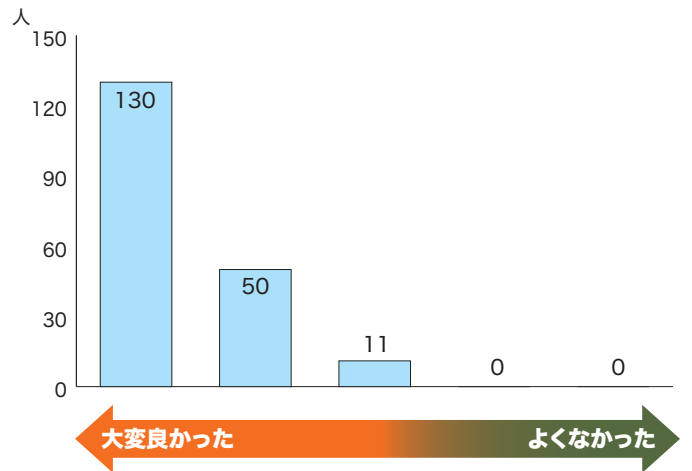
【職業・所属】



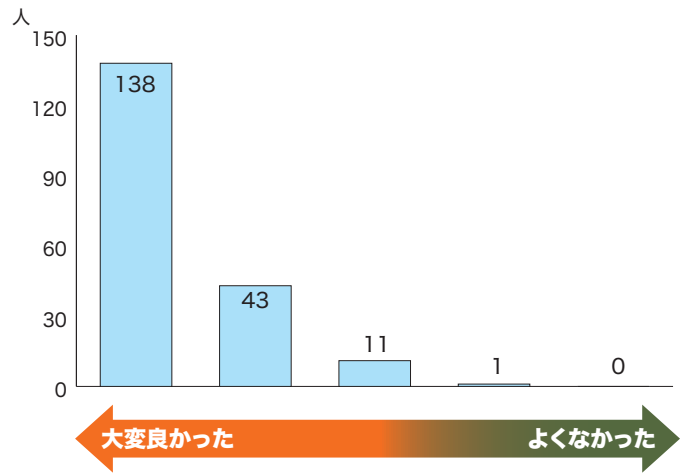
Q. この分科会を選んだ理由についてお答えください。（複数回答可）



Q. 講師はいかがでしたか。



Q. 内容はいかがでしたか。



Q. 分科会全体についてのご感想、お気づきの点がありましたらご記入ください。

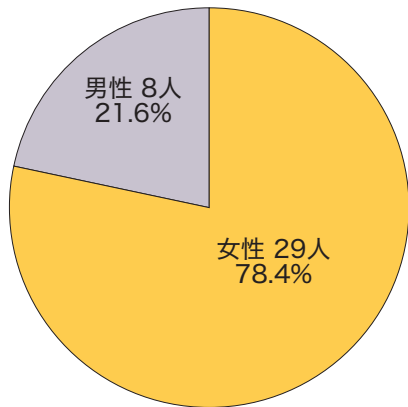
- ◆現場のお話しはとてもリアルで、胸をぐつつかまれるような感覚もありました。私は海外でしばらく過ごしていたときがあり、その国では同性が手をつないで外を歩くこと、男性か女性かわからないこと、また子供の親が同性同士なことは当たり前でした。日本はカムアウトさえも難しく、こうして公の場で実体験を語ることも憚れるからか、生の声があまり普通に暮らしている人に届きません。もっと一般の方のもとに、浦田さんのような実体験ベースのお話しが届くようになるとういなと思います。
- ◆自分でも意識しないうちに差別的な言い方をしていたかもしれないと気づききっかけになりました。ありがとうございました。
- ◆全てに人に安心できる居場所をと思って日々教育にあたられているということで、上野さんの基調講演と通じるものを感じました。こんな先生に教えてもらえたらどんなにいいだろう、と思いました。
- ◆基礎知識を改めておさらいすることができ、また、教育、企業、行政と様々な角度から、多様性について学ぶことができてとてもよかったです。
- ◆特別な人に対する特別な対応ではなく、だれにとっても生きやすい学校、企業、まちづくりであるという意識が大切であることを、あらためて感じることができました。
- ◆只今子育て世代です。今日の話が我が子の教育に生かしたいと思います。性はいろいろなこと。LGBTを探しに行くのではなく、当たり前にいるという価値観でいること。
- ◆toiletの問題はとても切実だと思った。LGBTの人にさりげない手助けが出来る社会になってほしい。また、性別でアンケートをくくる危険性を知ることが出来た。不要なアンケートなどには答えずNOと言える社会も我々が作っていくべきだろう。
- ◆大阪では制服もズボンスカートが選べるし、入試の願書にも男女別の記載はありません。いまだに男女混合名簿ではない地域があると聞いて、びっくりです。
- ◆LGBTQのパートナーシップ宣誓制度ではまだ法的に配慮されていないのが残念です。
- ◆浦田先生の「知ることでできることが見える」という言葉に共感しました。市の施策の啓発が仕事ですが、「まずは知っていただきたい」と思っても当事者でないと興味をもっていただけないことが多く、自分が伝える方法が間違っていたことに浦田先生の言葉で気づかせていただけました。「自分にできることが見えるなら知ってみよう」と考える市民の方はたくさんいると思いますので、伝え方を工夫したい。
- ◆日々の生活の中で、差別的になっていないかと意識をするだけで、見え方は違ってくるのだなと思いました。
- ◆教師・企業・行政のそれぞれの立場からのお話が聞けて、大変勉強になりました。
- ◆自分と違う人がいると言うことを認識するだけでなく、その人たちが生きやすくなることを考えるために一歩踏み出さなければ世の中は変わらないと感じました。
- ◆40年近く前に教員として、理解不足の対応をしてしまったことを思い出した。とても参考になりました。
- ◆たくさんの方が学べました。浦田先生の話聞いて中学生の対応、先生のご苦労に感動して涙が出ました。
- ◆浦田さんの実体験の話が、いろいろ興味深く勉強になりました。
- ◆当事者や会社の取り組み、市の取り組みの紹介がされてよかった。社会全体に浸透すればよいと思います。
- ◆誰にでも理解しやすい内容であったと思います。このような知識や理解を広める機会がもっと全国的に展開されると世間は変わると思います。
- ◆専門家、当事者、企業、行政とバランスの良い構成で、この問題に関する現状と課題がきれいに浮かび上がった良い分科会だったと思います。浦田さんのような教員が増えることが、特に年少者の困難な状況を変えていくためには必要なことではないか、と感じました。
- ◆当事者の方や、パートナーシップを進めている自治体担当の方の具体的な取組をお聞きできて、とても良かったです。
- ◆知ることで 出来るが見えてくる が 心に響きました。
- ◆静かな積極性を多様な場面で表現していけたらと前向きになれました。
- ◆まずは、私たち自身がLGBTに関する理解を深め、学校現場でできることを検討し、実行していくことが大切だと感じました。ありがとうございました。
- ◆とても良い内容でした。行政・企業・教育に焦点をあて、研修により知識を得て、できることから始めていく。当事者への偏見をやめ、寄り添う。多様性が重要視される社会が来ていることを願うばかりです。私の意識が変わる内容でした。
- ◆まず小さな歯車を動かす力が原動力となって次々に大きな歯車が動き出すのだということが、腑に落ちました。一人ひとりの正しい理解が始まりですね。
- ◆私自身、LGBTQについて知らない事が多く、正しい知識や理解が必要であると思いました。多くの人に正しい知識や理解をしてもらうためには、LGBTQにしても昨日の性教育にしても、学校教育の一環として生徒に教えていく必要があるのではないかと思います。
- ◆性の多様性を理解し受け入れる素地となる分科会であったと思います 企業の方針としての取り組みが興味深かったです また、教育、行政の浸透を図る努力を肩に力を入れず実践されていることに敬服いたしました。
- ◆分科会を通して法整備がとても遅れていることがわかりました。個々の組織の環境整備や制度化を後押しするための法整備が急がれます。特にパネリストの浦田さんの当事者ならではの苦悩や経験談はとても興味深かったです。また視点や問題点指摘も素晴らしかったです。浦田さんのような先生に出会ったことでこどもたちが偏見を持たずに大人になってくれると信じています。性的マイノリティとしての経験をプラスに活かしてこれからも多くの場所で発信して行ってほしいです。最後に、すべての人にとっての「生きやすさ」を追求していくことが社会の発展につながるということを改めて感じました。
- ◆LGBTQを身近な存在、SOGIは誰にでも関係あることと考え、労働組合としてできること、企業としてできることを考えて行きたいと思います。
- ◆今回の日本女性会議の中で、私は一番良いと思いました。風間先生のお話しで知識をつけ、パネリストの方のお話しで実体験がわかるとても良い講演でした。中でも、中学校教員として働く浦田先生の体験がとても面白かったです。とても良い講演でした。

分科会H（女性が輝けば地域も輝く）わたしが元気に活躍する地域づくり

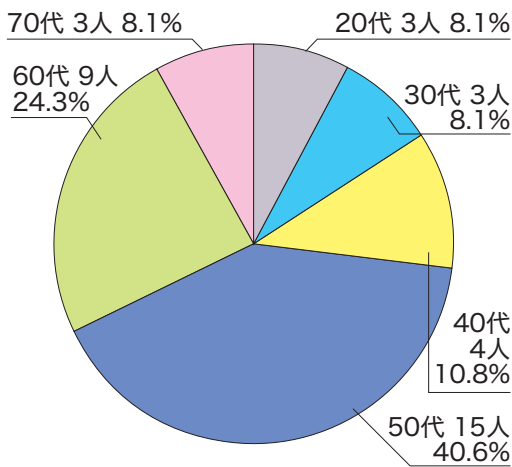
[回答数：37件]

回答者属性

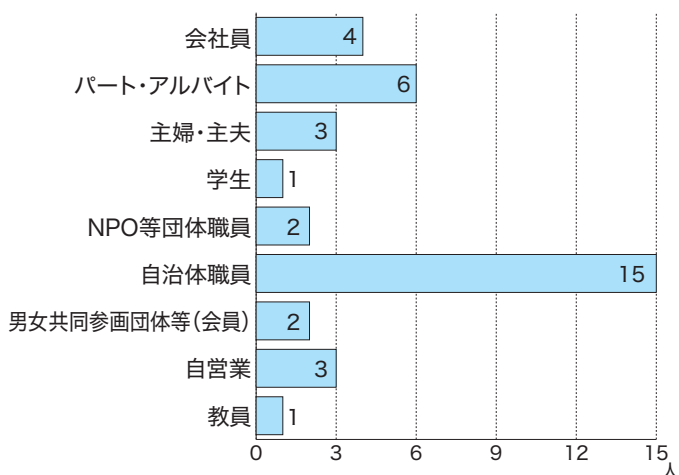
【性別】



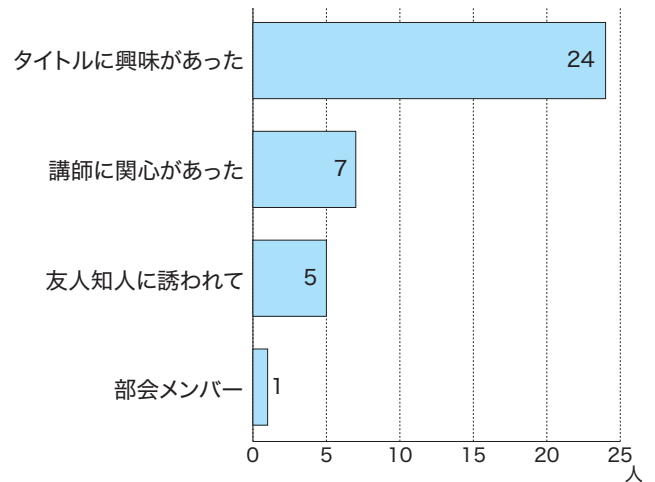
【年代】



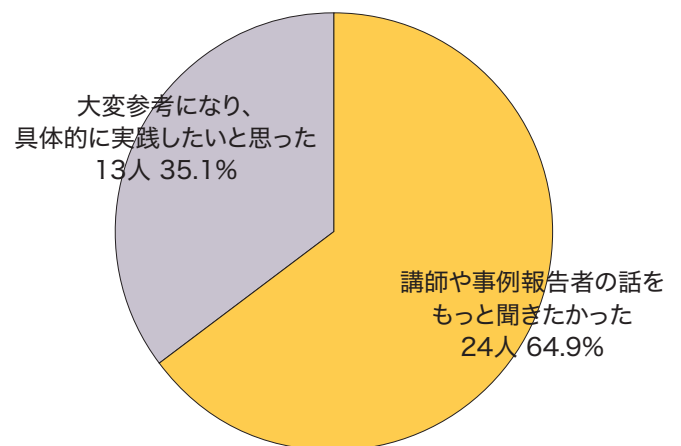
【職業・所属】



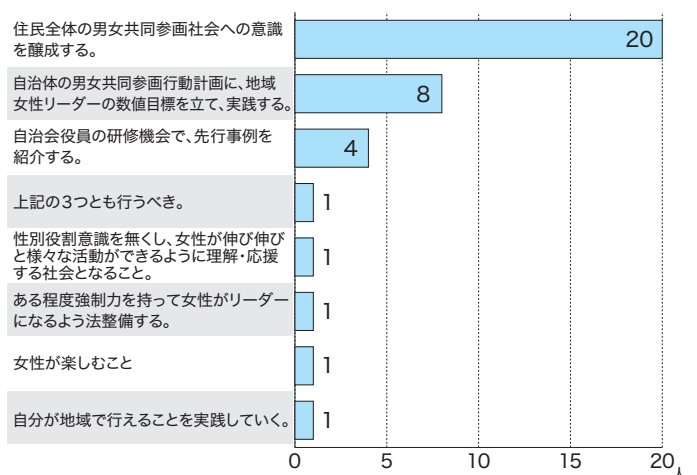
Q. この分科会に参加した動機は何ですか。



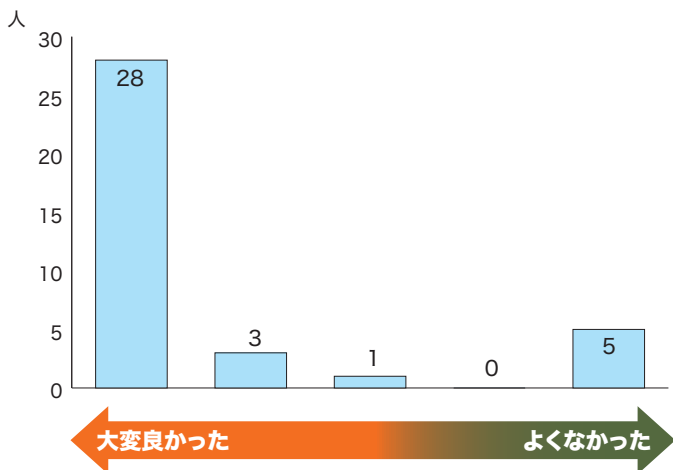
Q. 参加した感想はどうでしたか。



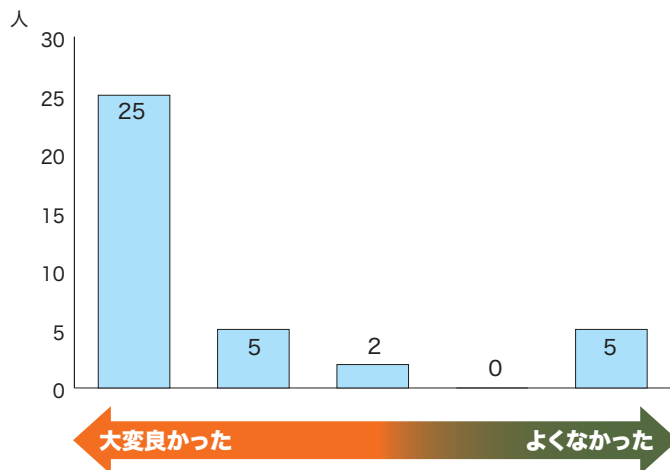
Q. 持続可能な地域づくりに必要な、女性リーダーが活躍するために行うべきことは何だと思いますか。



Q. 講師はいかがでしたか。



Q. 内容はいかがでしたか。



Q. 分科会全体についてのご感想、お気づきの点がありましたらご記入ください。

- ◆「まち」が人と人との関係を豊かにすることであり、自らが創り出していくものであることがよくわかりました。一住民ですが、自分ができることを一つ一つ積み重ねていきたいと思えます。アイデアが浮かびました。
- ◆川北先生の統計を用いてのお話は、日本の地域の現状や、今後なるであろう状況を、よりリアルに理解することができました。また、國見さん、神谷さんの活動のお話は大変参考になりました。
- ◆コロナ禍であっても、オンラインで開催ができてよかったです。ブレイクアウトセッションでは「顔を見て話すことで、交流もできた。来年も会いましょう。」との声が聞かれました。来年以降はオンラインとのハイブリットで開催をしてほしいと思いました。
- ◆地域運営のヒントがいくつもあり、参考になりました。
- ◆講師の川北さんのお話は、具体的な数値を示しての現状・将来への分析が興味深く、もっと聞きたかった。神谷さんの実践例は、積極的な行動が素晴らしく参考にしたいと思ったが、自分の地域では、地域性や住民の関心の程度などを考えるとなかなか難しいと感じた。
- ◆「ババブロック」「粘土層」という素敵な(?) キーワードをいただきました。今後の活動に、使わせていただきます。
- ◆家に居ながらにして、遠く離れた方とオンラインで意見を交わせる事ができました。
- ◆話し合いに参加することができることにより身のあるものになると感じました。
- ◆グループディスカッションで自分の思いを発信でき、大満足でした！もう少し時間が長ければよかったです！
- ◆聞き足りない、話し足りない1時間半でした。
- ◆もっともっとお話が聞きたかったです。
- ◆川北先生のお話は、これからの地域の在り方を考える上で、とても参考になりました。

- ◆グループセッションに参加されている方が終始ミュートでビデオオフだったのはあまりいい気持がしなかった。せめてチャットでもよいのでなにかリアクションしてもらいたかったです。
- ◆もっと川北先生のお話を聞きたかった。全体の時間が短かったのが残念です。
- ◆講師の先生のお話が実例やデータをあげてくれて大変わかりやすく、たくさんの気づきもありました。時間が少ないのが残念で、質問できたらよかったです。
- ◆先生の話をもう少し聞いていたいぐらい興味深い内容でした。安城市の事例も大変参考になりました。
- ◆リモートで、初めての方と話し出来て良かったです。初めは少し緊張もあったけど、話し始めたらみんな同じ事で悩んでる事がわかりました。質問も出来て良かったです。またこの様な会議があったら参加したいです。
- ◆分科会の人数が少なく、話題に厚みがでなかった。
- ◆さすが川北先生ですね。お二人のお話しの価値がぐっと上がったように思います。また、グループワークに参加された方々からも良いお話しが伺えよかったです。
- ◆オンライン開催の可能性を感じた。
- ◆時間が短かった。
- ◆自身がZOOM参加に慣れていなくて画面下の云々と突然言われても対応できなかったのが残念でした。分科会Hは素晴らしかったと思います。関係の皆様のご苦勞に本当に感謝申し上げます。今回のパネリストのお二人の報告は自身でも少し似た経験をしていましたので、古い慣習に負け先に進まず中途半端で終わってしまったことが恥ずかしく思いました。これから新しく住みはじめた地域で新しいつながり、以前からのつながりも大切にしながら地域に何か貢献していけたらと思います。

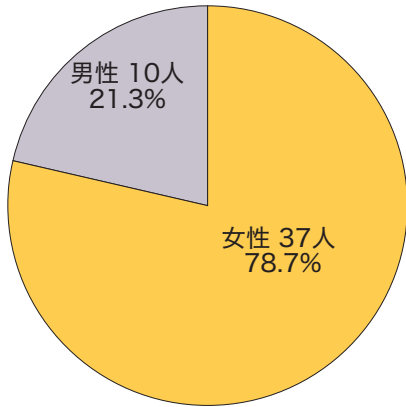
■分科会Ⅰ(子ども・子育て)

子どもたちの未来をプロデュースする ～今やるべきこと、今できることをみんなで考えよう～

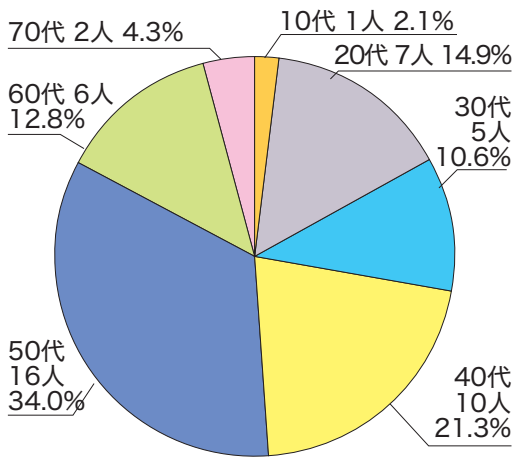
[回答数：47件]

回答者属性

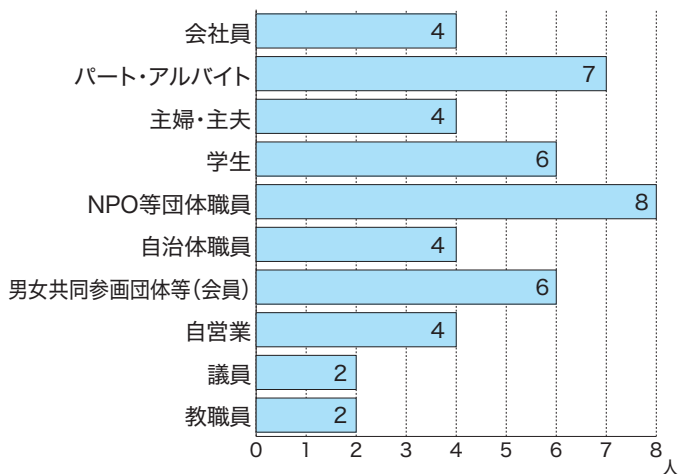
【性別】



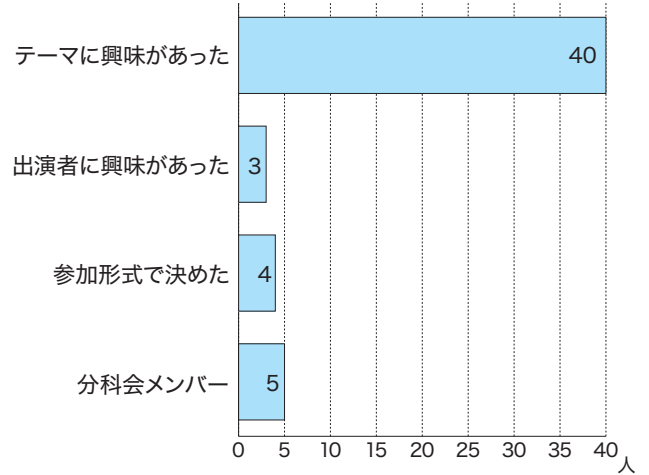
【年代】



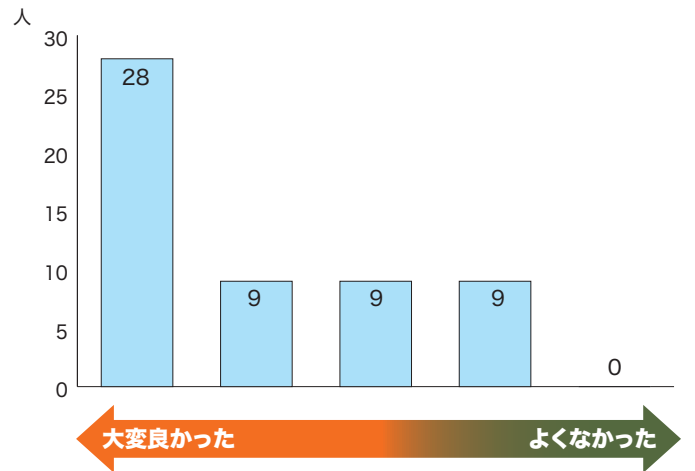
【職業・所属】



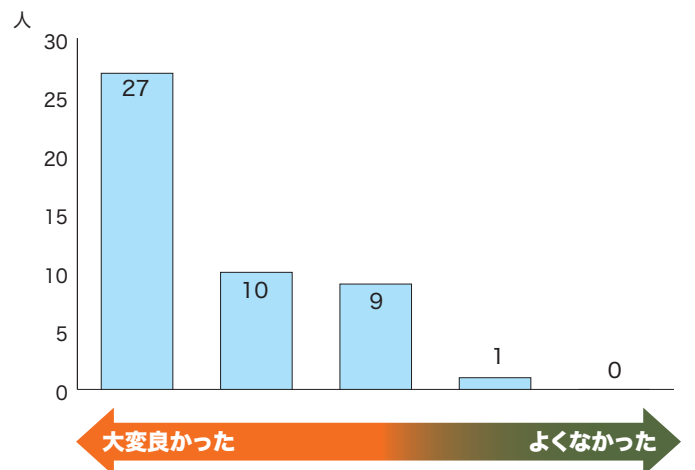
Q. この分科会を選んだ理由についてお答えください。(複数回答可)



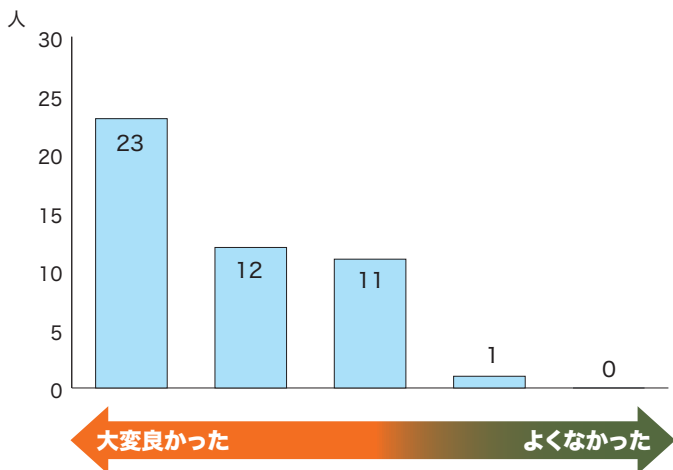
Q. コーディネーターはいかがでしたか。



Q. 内容はいかがでしたか。



Q. グループワークはいかがでしたか。



Q. 分科会全体についてのご感想、お気づきの点がありましたらご記入ください。

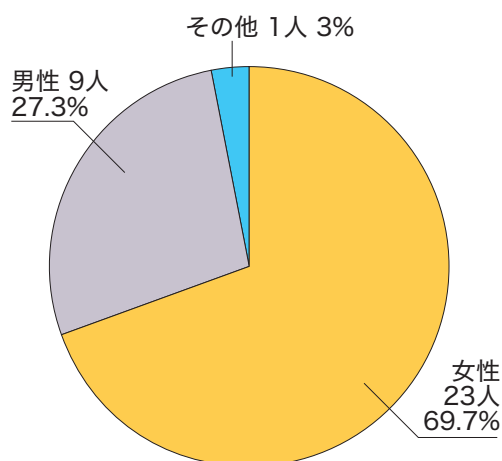
- ◆会って話す 語るの大切さを感じます。
- ◆参加化型だったので、自分で考え、いろいろな方の意見を聞け、あつという間でした。
- ◆先生のお話やいろいろな立場の視点でのお話が聞けたことは参考になりました。グループワークのテーマ範囲が広く、話にくい参加者の方がいたかもしれませんがオンラインでも議論できよかったです。
- ◆様々な職種や学生の方、子育て中の母親とディスカッションし、情報交換ができた。コロナ禍で子どもが育つ環境に様々な影響があるが、新しい生活様式を取り入れて安全にかつ、交流がしやすいシステム作りや情報発信の手段を具体的に検討していく必要があることが示唆されました。
- ◆テーマは結論は出しづらいですが地域の子どもと関わりながら、アンテナを立て支援出来る事があれば無理せず支援の方法を共に仲間と考えたいと思いました。
- ◆コロナ禍の中で、色々な影響は受けても、そこからどうしていくか、自分たちが出来ることは何かということなど、あまり考えたことがなかったので皆さんとディスカッションをして話し合えたことが新鮮で嬉しかったです。
- ◆一つの会場で対面していたら強制的に参加しなければならなかったかもしれませんが、オンラインだったからグループワークへの参加、不参加を選ぶことができ、興味があるテーマとしてこの分科会を選ぶことができた方もいたのではないかと思います。
- ◆全員が早口で聞き取りが難しかった 移動中で脆弱なネット環境だったため仕方がないのだが。
- ◆初めての形式で戸惑いや緊張もしたが、後半には慣れてきて、素直な意見を出すことができました。子供のコミュニケーション、明るい将来に闇がかかったような事態になり、何かできることはないか、という思いです。コロナ禍だからこそ、新しく前向きになるような取り組みをどんどん発案できたらいいな、思います。個人的には、少人数制授業の推進、外でできる授業を増やす、野外授業の推進、外で遊ぶ機会を増やすことができたらいいな、と感じました。
- ◆ブレイクアウトルームで、グループワークを進行して下さった宮田さんの進行の仕方は、スムーズであったと同時に元気な雰囲気を作ってくださったため、意味のあるグループワークになったと感じました。
- ◆大変 興味深く参加出来ました。
- ◆当日マイクが壊れたので急遽 チャットにしましたが、すぐ気づいてくれて会話にいられてもらったところと、後半で気づかれたりとありました。
- ◆結果的に6名だったので、いい交流となりましたが、予定通り11人いたら難しかったと思いました。
- ◆わかってはいたが、オンラインでのグループワークはなかなか難しいですね。
- ◆永田先生、とてもわかりやすいお話をありがとうございました。様々な活動をされている方々のいろいろなお話を聴くことができ、気づきも多くたくさんの刺激もいただきました。またこういう機会がありましたら、ぜひ参加させていただきたいと思えますし、子どもたちに関わる様々な活動をしている方々との交流の機会の大切さも実感しました。
- ◆グループディスカッションの時間が思ったよりもあつという間でした。
- ◆コロナは若年層の重症化率が低いので、遊びやコミュニケーションを制限していることの方が広く深刻な影響を及ぼす可能性を考えた方がよいと感じました。東日本大震災の様に精神的な問題を抱える子ども達が沢山いることが数年後に判明する事態になってから考える様では遅過ぎます。
- ◆積極的に発言できる雰囲気よかったです。今相手に対し真剣に向き合っているか？という問いかけの通り、地域の課題を共有し解決する手立てをみんなで考え、行動していきたいです。
- ◆時間が短すぎて問題を開示していくことはできたがその解決策までは至らなかったと思う。短時間で自分の意見をいうのは難しい。最初にある程度自分の意見をまとめておく事が必要だった。今回はグループを、いくつも分けて行いましたが、色々な視点からの話が聞けてとてもよかったですと思う。肝心なのは、問題を知ってもらい共有して問題を解決に導くことだとおもう。それは、母親1人の力では難しく家族、地域、国が一丸となって取り組まなければならないという事。決してそれは母親のわがままではなく当然の事であるという事。この会議をして満足するのではなく、刈谷市が最初に発信し全国に広めていくようにしなければいつまでも解決する事は不可能に思えてなりません。子ども達がより良い暮らしが出来るようにしていただけると期待しております。
- ◆zoomの使い方に慣れてない方のフォローや使い方の事前説明の時間が必要だったと思います。会議は楽しく参加することができました。

■ 【エキシビジョン】 ミライク若者会議 U-40と考える かけがえのない“わたし”を生きる

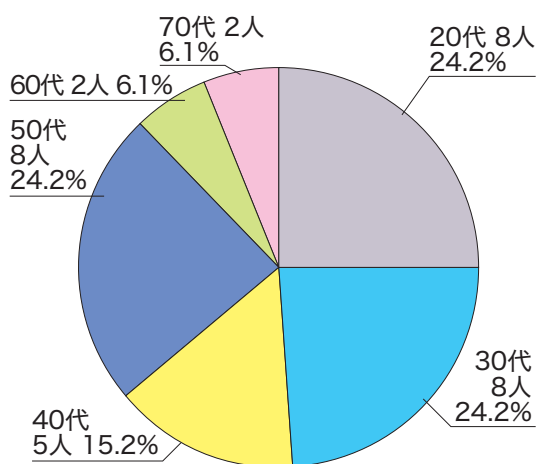
[回答数：33件]

回答者属性

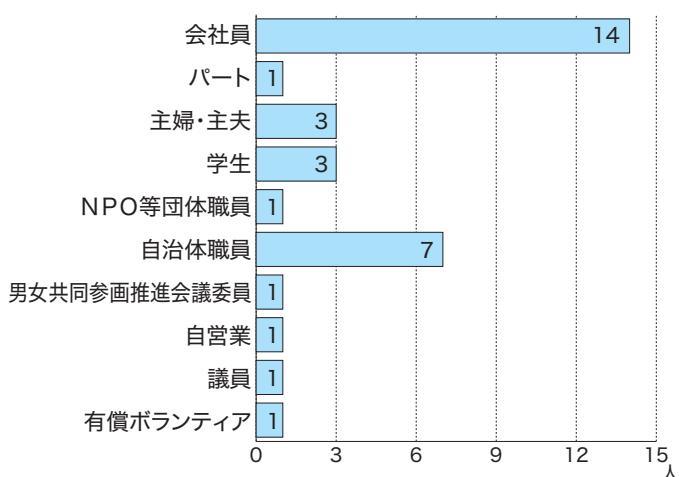
【性別】



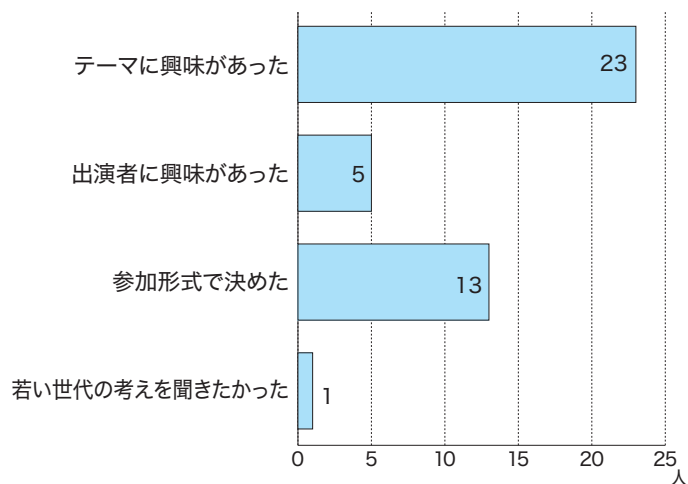
【年代】



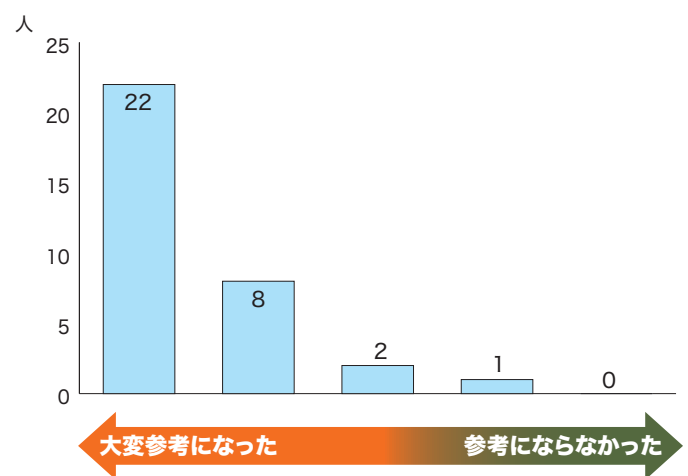
【職業・所属】



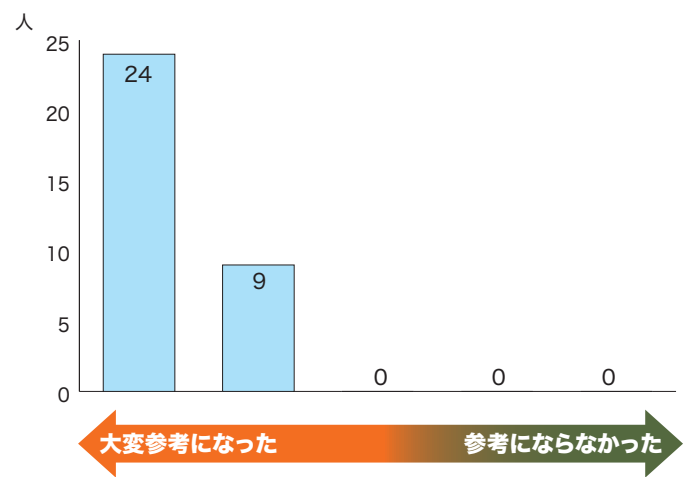
Q. エキシビジョンに参加した理由についてお答えください。(複数回答可)



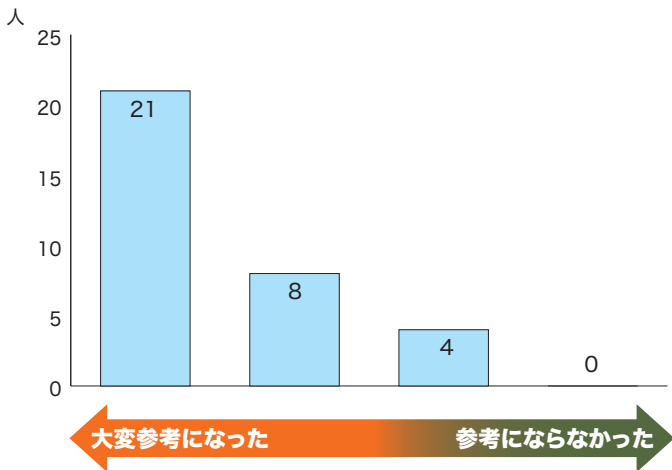
Q. ミニ講演松岡宗嗣氏「男女平等とLGBTは別問題？」は参考になりましたか？



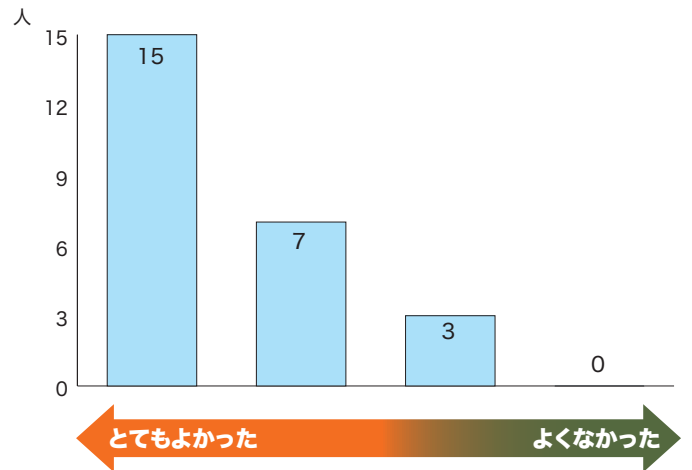
Q. ミニ講演山本恵子氏「ニュースの現場から見たジェンダーバランスの現状と課題」は参考になりましたか？



Q. パネルディスカッションは参考になりましたか？



Q. 放課後タイムはいかがでしたか？



パネルディスカッションで印象に残った事やワードがあればご記入ください

- ◆天動説と地動説の世代交代のはなし
- ◆山本さんがジェンダーの視点で逐一チェックしているという話
- ◆今の当たり前に疑問を持ち、細分化し見直す
- ◆（ジェンダーしぼるようなことは）可能性を狭めている
- ◆女性は半数もいるのに少数派
- ◆日々の意識づけ、見える化すること
- ◆処刑されない程度に声を上げ続ける
- ◆「ゲイの中ではマジョリティ」という言葉が印象に残りました
- ◆無意識の「らしさ」の当てはめの積み重ねの恐ろしさ、意識的に

- 「なぜ？」と問い掛けることの大切さ
- ◆性的少数派は10%にも満たない全ての人が様々な面からアライの立場になれるよう
- ◆「らしさ」の押し付け
- ◆当たり前、らしさを皆で考えること大切。ステレオタイプ再生産するような広告禁止
- ◆自分らしさを大切にすることはみんなできやすくなる考え方
- ◆無意識のジェンダー
- ◆自分らしくいられるコミュニティに結局落ち着く

全体としてご意見ご感想などありましたらご記入ください。

- ◆Vimeoの音声トラブルが残念だった。
- ◆「らしさ」をおしつせずに、日々「なぜ」と疑問に思ったり、強い信念を持って発信していくことで、多くの人と繋がっていくことができるようになると思いました。
- ◆他団体、地域の動向を知ることができてよかった。
- ◆休憩を挟んだことで、考えを整理できて良かった。ブレイクアウトルームでは密な話ができて嬉しかったです。来年も是非オンライン開催いただけたら助かります。
- ◆今日をきっかけに、継続して私も伝える側になり発信していきたいと思います。終わりでは無く始まりです。

- ◆平等な社会を作っていくために、まず自分ができることとしては、いろんな人の意見を聞き、考えの幅を広げることが大切であると感じました。そして、意思決定をする際には、さまざまな人が参加して意見を言い合える雰囲気大切と感じました。
- ◆私もボーッと生きるのではなく、自分に何ができるのかを常に考えながら生活したいと思うようになりました。
- ◆内容構成とてもよかったです。
- ◆遠方からの参加だったので、オンライン開催の良さを味わうことができました。少人数でのトークができる場があったのも良かったです。

放課後タイムのついて何かご意見ご感想などありましたらご記入ください。

- ◆Zoomで参加予定でしたが、URLのメール通知がなかったため参加できず残念でした。
- ◆人が少なかったのも、もう少しグループは少なくても良かったのかと思う。
- ◆聞くだけではなく、感じたことを人と話し合い共有することの大切さを感じました。
- ◆少人数でいろいろな意見を聞けてよかったです。分科会のグループセッションにも参加したけれど、明らかにジェンダーの価値観は若い世代と上の世代で違うと感じました。若い世代でこれからのことを話し合っている様子を、たくさんの上の世代の方に見てほしいと思いました。
- ◆あまり話を広げられなかったので、もっと時間が欲しかったです。同志に出会えて嬉しかったです！
- ◆様々な立場からのお話を聞くことができ、とても有意義な時間でした。そして、私の中で考えの幅が少し広がった気がします。また、人前で意見を言うことが得意な方ではないのですが、話しやすい雰囲気を作っていたり、話を振っていただいたりしたおかげで自分の意見を言いやすかったです。
- ◆もう少し参加者が居ると盛り上がったと思います。
- ◆ブレイクアウトルームを使用しているグループトークはいい経験になりました。同じテーマで、全く知らない方とお話ができる機会はなかなかないので良かったです。一方、通常の開催だったら名

- 刺交換でその先のつながりができるけど…という話もあり、オンラインだと顔出しせずライトに参加する方もいるのでバランスは難しいですが、何かしらつながりづくりの仕掛けがあっても良いかもしれません。
- ◆色々な年齢層の話聞くことができとても勉強になりました。年齢により思想が固まってしまっているのではなく、日本人特有の同調意識によって埋もれているだけで若い人に手助けしてくれる方主張していきたいがマイノリティ故に発信出来ずにいる方さまざまな方がいらっしゃると感じました。私もマイノリティですが、言わなければ分かりません。そのような方が沢山いらっしゃると感じます。なのに国の法律には男女としての昔ながらの家庭の基準しかありません。夫婦別姓、結婚をしたい同性愛者の方も居ればしたくない(世間にバレたくない)同性愛者の方もいます。また、出産子育ては両親で背負う物だと思います。産んだのは母親かも知れませんが、紛れもなく父親の子でもあるからです。出産子育てを女性が担わないといけないからペナルティを持つキャリアを絶たれるのは仕方がないという社会ではなくなったらいいと思います。社会に出たい女性は社会に出て、専業主婦(夫)をしたい方はしたらいいいし、結婚したい同性愛者は結婚できる、男性だって弱音を吐いてもいいし、女性だから女性らしく振る舞わなければならないわけでもない。1人の人間として一人一人がさまざまな選択をできるような社会になったらいいと思いました。